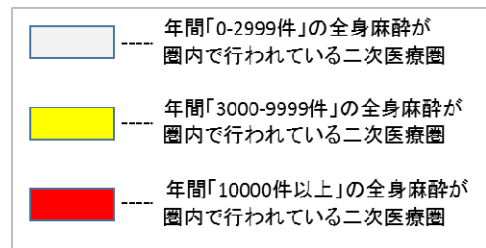
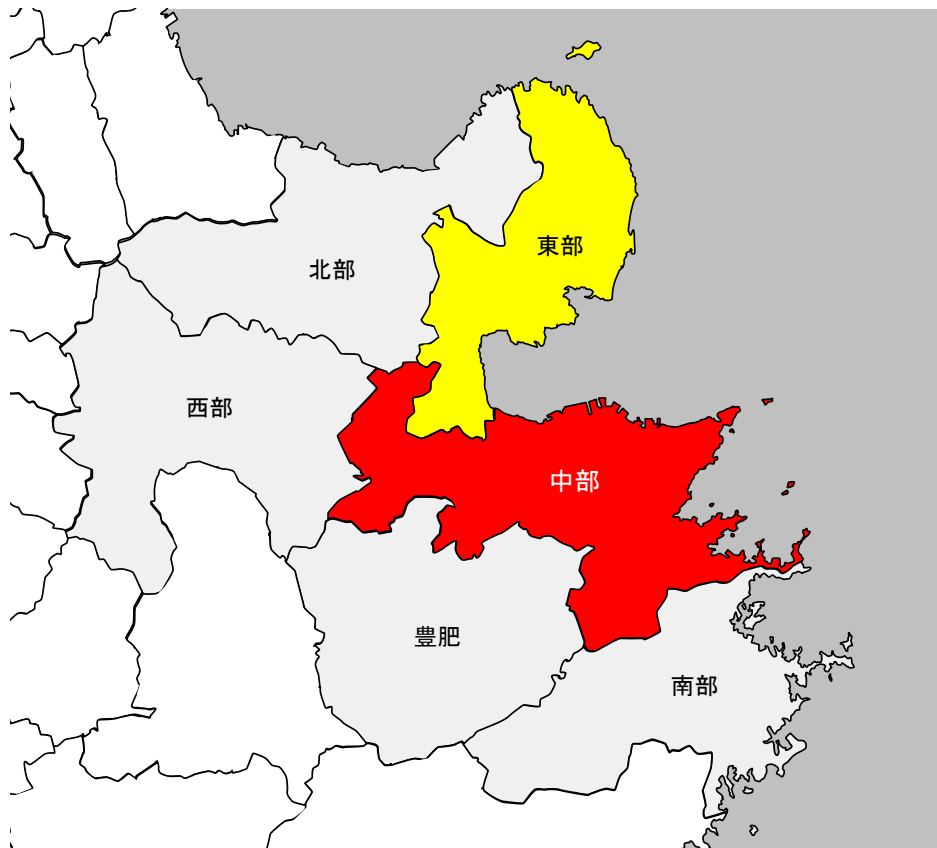


44. 大分県



目次

大分県	44	-	3
1. 東部医療圏	44	-	9
2. 中部医療圏	44	-	15
3. 南部医療圏	44	-	21
4. 豊肥医療圏	44	-	27
5. 西部医療圏	44	-	33
6. 北部医療圏	44	-	39

大分県

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は64,968人(-5%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は703人(29%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は267人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は36%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

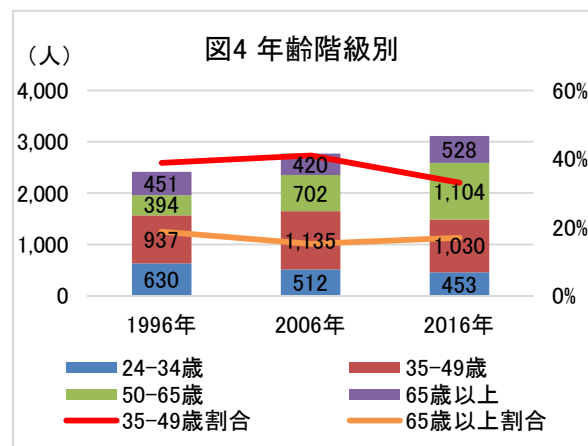
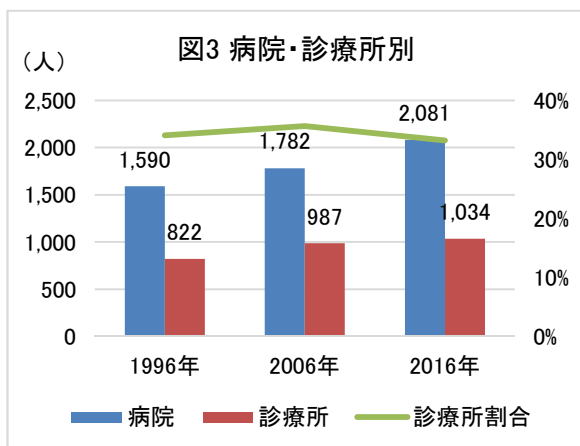
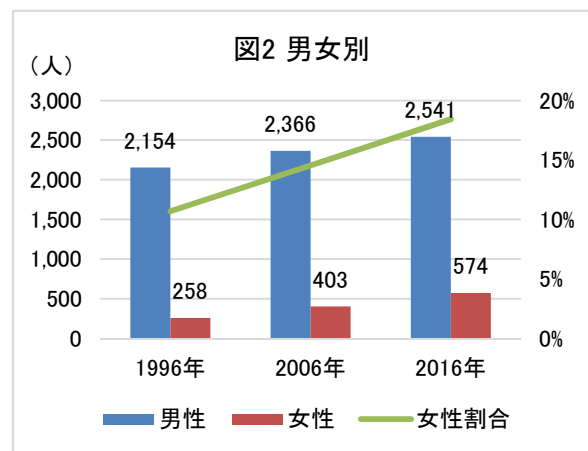
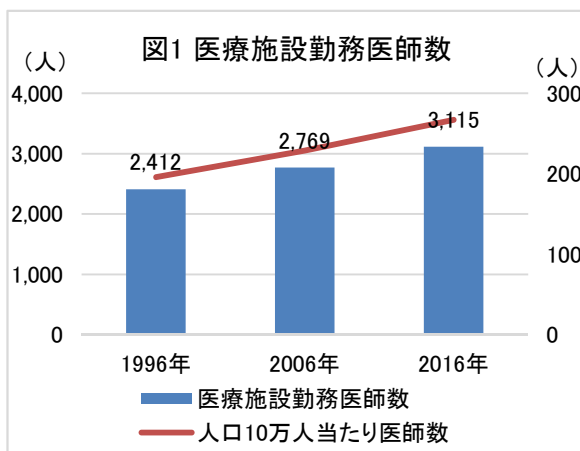
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて387人(18%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に316人(122%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は18%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて491人(31%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に212人(26%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は33%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は93人(10%)増え、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて77人(17%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年19%、2016年17%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

大分県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,231,306	1,209,571	1,166,338	-64,968	-5%	-21,735	-2%	-43,233	-4%	
総医師数	2,531	2,904	3,230	699	28%	373	15%	326	11%	
人口10万対	205.6	240.1	276.9	71.4	35%	34.5	17%	36.9	15%	
医療施設勤務医師数	2,412	2,769	3,115	703	29%	357	15%	346	12%	
人口10万対	195.9	228.9	267.1	71.2	36%	33.0	17%	38.2	17%	
男性医師数	2,154	2,366	2,541	387	18%	212	10%	175	7%	
人口10万対	174.9	195.6	217.9	42.9	25%	20.7	12%	22.3	11%	
女性医師数	258	403	574	316	122%	145	56%	171	42%	
人口10万対	21.0	33.3	49.2	28.3	135%	12.4	59%	15.9	48%	
病院勤務医師数	1,590	1,782	2,081	491	31%	192	12%	299	17%	
人口10万対	129.1	147.3	178.4	49.3	38%	18.2	14%	31.1	21%	
診療所勤務医師数	822	987	1,034	212	26%	165	20%	47	5%	
人口10万対	66.8	81.6	88.7	21.9	33%	14.8	22%	7.1	9%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.2	48.8	51.4	4.1	9%	1.6	3%	2.6	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	630	512	453	-177	-28%	-118	-19%	-59	-12%
	35-49歳	937	1,135	1,030	93	10%	198	21%	-105	-9%
	50-64歳	394	702	1,104	710	180%	308	78%	402	57%
	65歳以上	451	420	528	77	17%	-31	-7%	108	26%
	75歳以上(再掲)	131	211	203	72	55%	80	61%	-8	-4%
男性	24-34歳	495	362	295	-200	-40%	-133	-27%	-67	-19%
	35-49歳	858	954	780	-78	-9%	96	11%	-174	-18%
	50-64歳	377	648	977	600	159%	271	72%	329	51%
	65歳以上	424	402	489	65	15%	-22	-5%	87	22%
	75歳以上(再掲)	124	202	192	68	55%	78	63%	-10	-5%
女性	24-34歳	135	150	158	23	17%	15	11%	8	5%
	35-49歳	79	181	250	171	216%	102	129%	69	38%
	50-64歳	17	54	127	110	647%	37	218%	73	135%
	65歳以上	27	18	39	12	44%	-9	-33%	21	117%
	75歳以上(再掲)	7	9	11	4	57%	2	29%	2	22%
病院	24-34歳	604	493	443	-161	-27%	-111	-18%	-50	-10%
	35-49歳	681	819	826	145	21%	138	20%	7	1%
	50-64歳	159	314	604	445	280%	155	97%	290	92%
	65歳以上	146	156	208	62	42%	10	7%	52	33%
	75歳以上(再掲)	42	81	78	36	86%	39	93%	-3	-4%
診療所	24-34歳	26	19	10	-16	-62%	-7	-27%	-9	-47%
	35-49歳	256	316	204	-52	-20%	60	23%	-112	-35%
	50-64歳	235	388	500	265	113%	153	65%	112	29%
	65歳以上	305	264	320	15	5%	-41	-13%	56	21%
	75歳以上(再掲)	89	130	125	36	40%	41	46%	-5	-4%
	85歳以上(再掲)	17	13	36	19	112%	-4	-24%	23	177%

大分県

＜医師数の推移＞

大分県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、精神科、外科(総数)、整形外科、泌尿器科であり、少ない診療科は、耳鼻咽喉科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、小児外科、心臓血管外科、形成外科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	2,412	195.9	52	2,769	228.9	53	3,115	267.1	53	703	29%	71.2	36%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	1,096	89.0	54	1,163	96.1	56	1,260	108.0	56	164	15%	19.0	21%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	131	10.6	49	154	12.7	53	167	14.3	52	36	27%	3.7	35%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	119	9.7	54	156	12.9	57	181	15.5	56	62	52%	5.9	61%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	258	21.0	50	255	21.1	54	273	23.4	56	15	6%	2.5	12%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	3	0.2	47	5	0.4	48	6	0.5	48	3	100%	0.3	111%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	17	1.4	48	21	1.7	48	29	2.5	50	12	71%	1.1	80%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	63	5.1	52	65	5.4	52	81	6.9	54	18	29%	1.8	36%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	178	14.5	53	199	16.5	53	233	20.0	56	55	31%	5.5	38%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	13	1.1	50	14	1.2	48	21	1.8	48	8	62%	0.7	71%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	57	4.6	48	68	5.6	48	73	6.3	48	16	28%	1.6	35%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	80	6.5	45	98	8.1	46	105	9.0	47	25	31%	2.5	39%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	67	5.4	45	72	6.0	47	64	5.5	44	-3	-4%	0.0	1%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	51	4.1	50	68	5.6	54	82	7.0	56	31	61%	2.9	70%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	120	9.7	50	111	9.2	50	108	9.3	48	-12	-10%	-0.5	-5%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	9	0.7	50	17	1.4	50	19	1.6	48	10	111%	0.9	123%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	50	4.1	52	62	5.1	54	80	6.9	55	30	60%	2.8	69%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	49	4.0	50	75	6.2	54	95	8.1	52	46	94%	4.2	105%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				9	0.7	46	19	1.6	46	10	111%	0.9	119%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				87	7.2	45	136	11.7	48	136	56%	4.5	62%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	51	4.1	49	70	5.8	51	83	7.1	50	32	63%	3.0	72%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

大分県

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は162,427人(-14%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は472人(15%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は357人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は34%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

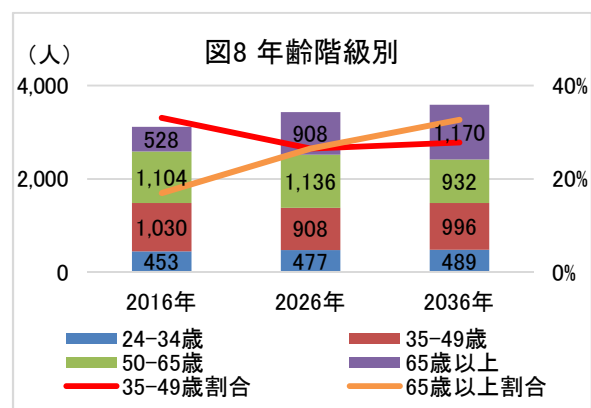
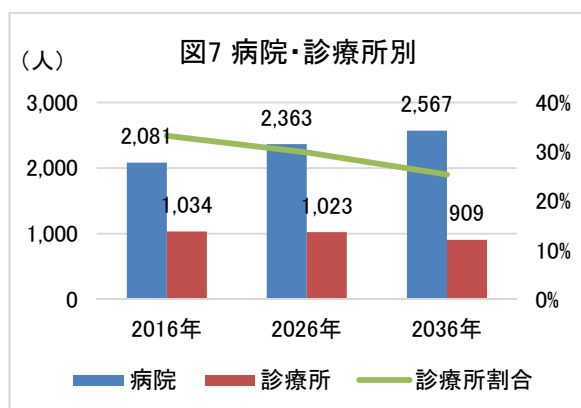
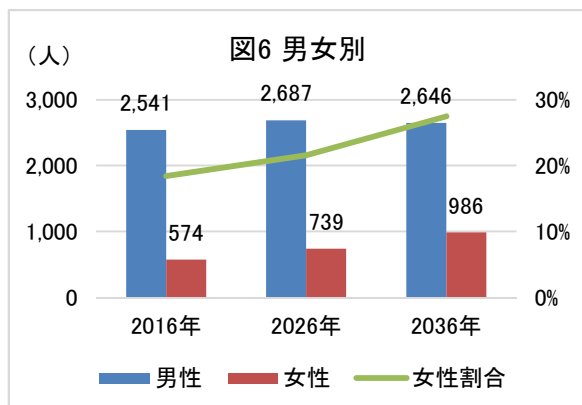
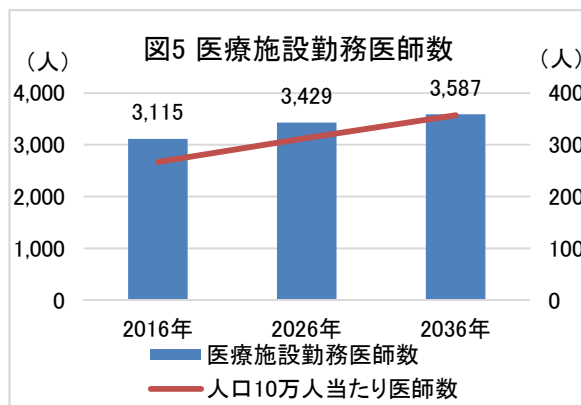
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて105人(4%)増え、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に412人(72%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は27%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて486人(23%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に125人(-12%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は25%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は34人(-3%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて642人(122%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年17%、2036年33%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



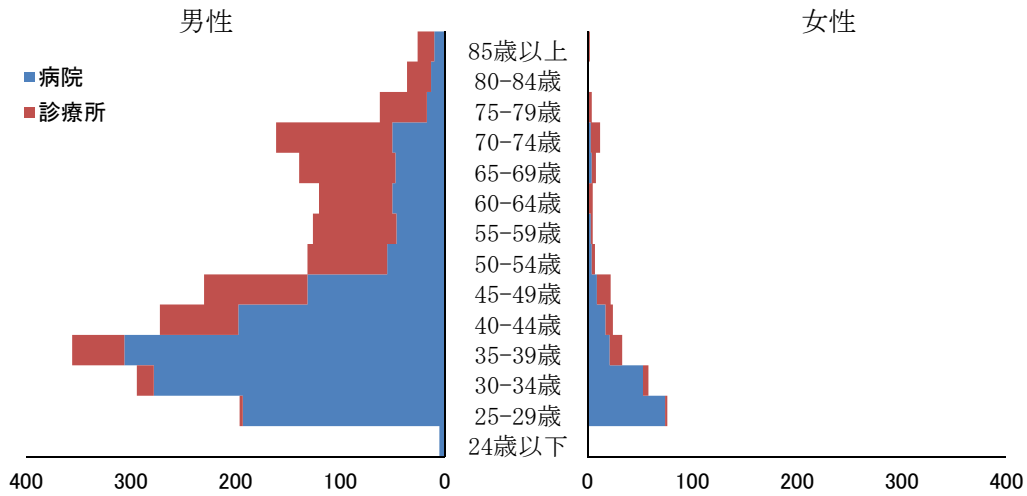
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

大分県

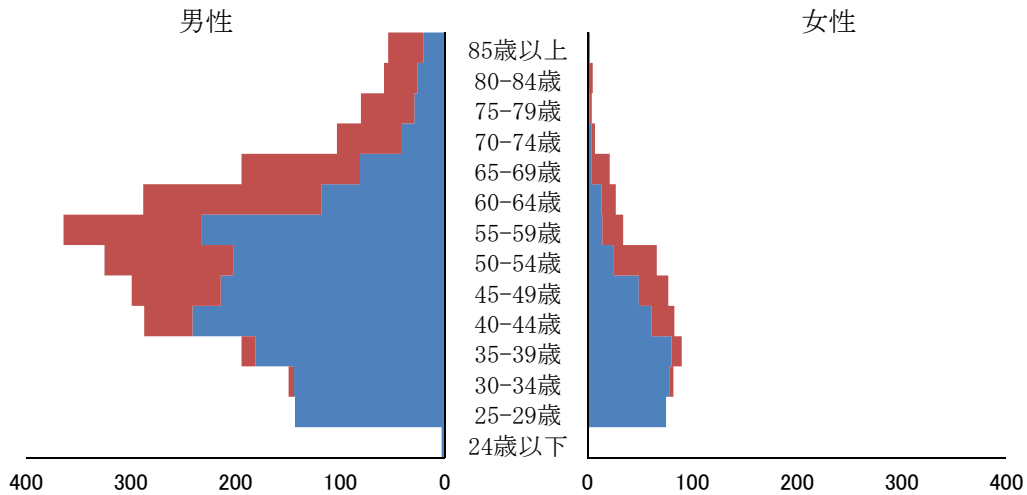
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

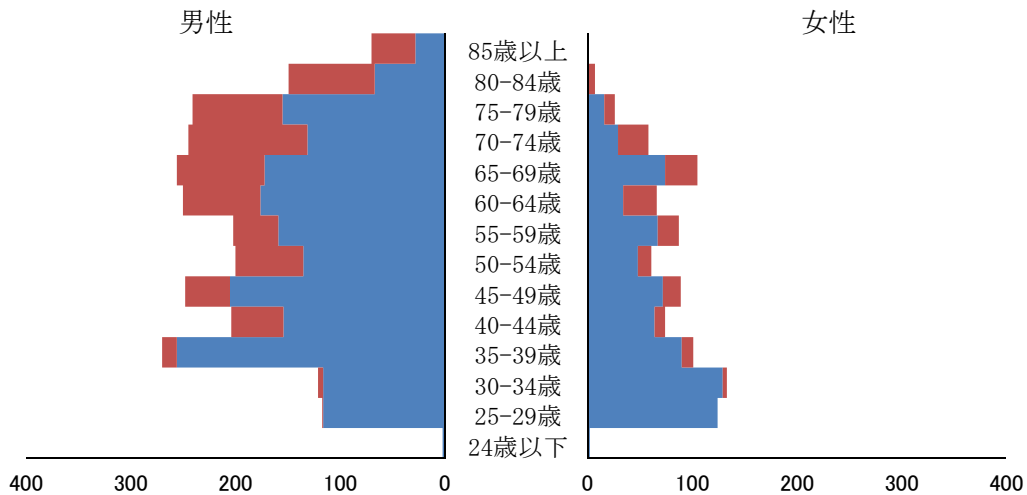
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

大分県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,166,338	1,093,634	1,003,911	-162,427	-14%	-72,704	-6%	-89,723	-8%	
医療施設勤務医師数	3,115	3,429	3,587	472	15%	314	10%	158	5%	
人口10万対	267.1	313.5	357.3	90.2	34%	46.5	17%	43.8	14%	
男性医師数	2,541	2,687	2,646	105	4%	146	6%	-41	-2%	
人口10万対	217.9	245.7	263.6	45.7	21%	27.8	13%	17.9	7%	
女性医師数	574	739	986	412	72%	165	29%	247	33%	
人口10万対	49.2	67.6	98.2	49.0	100%	18.4	37%	30.6	45%	
病院勤務医師数	2,081	2,363	2,567	486	23%	282	14%	204	9%	
人口10万対	178.4	216.1	255.7	77.3	43%	37.6	21%	39.6	18%	
診療所勤務医師数	1,034	1,023	909	-125	-12%	-11	-1%	-114	-11%	
人口10万対	88.7	93.5	90.5	1.9	2%	4.9	6%	-3.0	-3%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	453	477	489	36	8%	24	5%	12	3%
	35-49歳	1,030	908	996	-34	-3%	-122	-12%	88	10%
	50-64歳	1,104	1,136	932	-172	-16%	32	3%	-204	-18%
	65歳以上	528	908	1,170	642	122%	380	72%	262	29%
	75歳以上(再掲)	203	294	518	315	155%	91	45%	224	76%
男性	24-34歳	295	310	239	-56	-19%	15	5%	-71	-23%
	35-49歳	780	648	735	-45	-6%	-132	-17%	87	13%
	50-64歳	977	912	686	-291	-30%	-65	-7%	-226	-25%
	65歳以上	489	817	986	497	102%	328	67%	169	21%
	75歳以上(再掲)	192	265	461	269	140%	73	38%	196	74%
女性	24-34歳	158	166	258	100	63%	8	5%	92	55%
	35-49歳	250	262	283	33	13%	12	5%	21	8%
	50-64歳	127	230	254	127	100%	103	81%	24	10%
	65歳以上	39	81	191	152	390%	42	108%	110	136%
	75歳以上(再掲)	11	27	50	39	355%	16	145%	23	85%
病院	24-34歳	443	466	479	36	8%	23	5%	13	3%
	35-49歳	826	753	824	-2	0%	-73	-9%	71	9%
	50-64歳	604	715	623	19	3%	111	18%	-92	-13%
	65歳以上	208	429	641	433	208%	221	106%	212	49%
	75歳以上(再掲)	78	123	275	197	253%	45	58%	152	124%
診療所	24-34歳	10	10	10	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	204	143	145	-59	-29%	-61	-30%	2	1%
	50-64歳	500	394	247	-253	-51%	-106	-21%	-147	-37%
	65歳以上	320	476	507	187	58%	156	49%	31	7%
	75歳以上(再掲)	125	173	243	118	94%	48	38%	70	40%
	85歳以上(再掲)	36	34	47	11	31%	-2	-6%	13	38%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

東部医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は14,288人(-6%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は134人(26%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は312人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は34%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

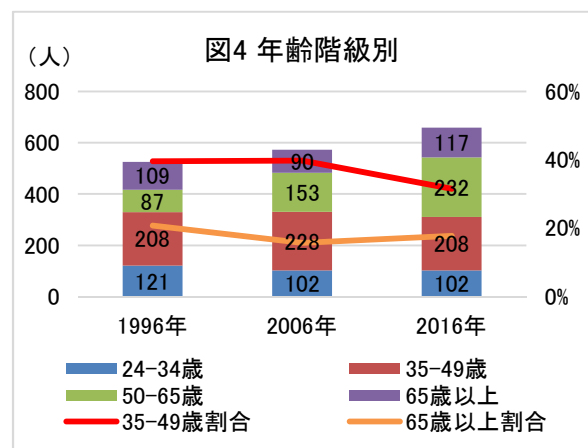
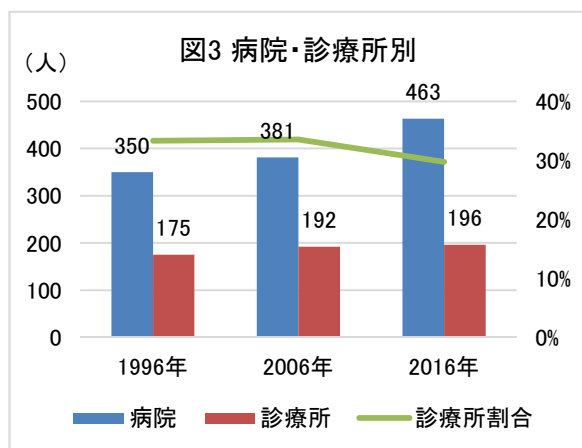
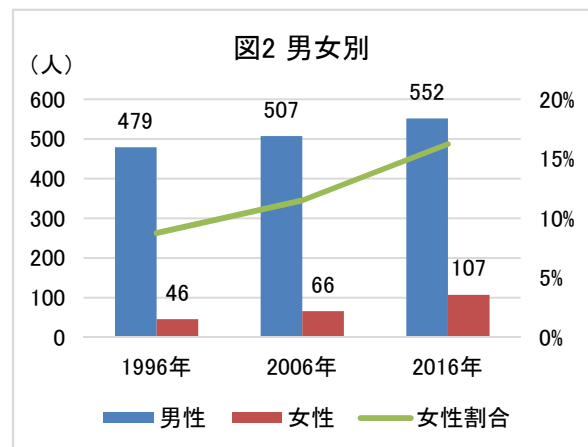
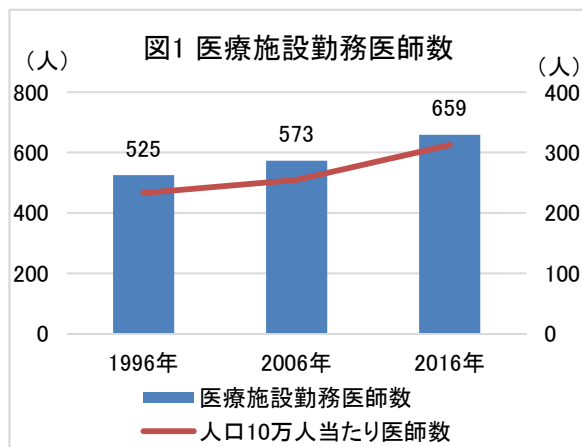
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて73人(15%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に61人(133%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は16%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて113人(32%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に21人(12%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は30%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は増減がなく、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて8人(7%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年21%、2016年18%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

東部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	225,307	224,841	211,019	-14,288	-6%	-466	0%	-13,822	-6%	
総医師数	540	585	675	135	25%	45	8%	90	15%	
人口10万対	239.7	260.2	319.9	80.2	33%	20.5	9%	59.7	23%	
医療施設勤務医師数	525	573	659	134	26%	48	9%	86	15%	
人口10万対	233.0	254.8	312.3	79.3	34%	21.8	9%	57.4	23%	
男性医師数	479	507	552	73	15%	28	6%	45	9%	
人口10万対	212.6	225.5	261.6	49.0	23%	12.9	6%	36.1	16%	
女性医師数	46	66	107	61	133%	20	43%	41	62%	
人口10万対	20.4	29.4	50.7	30.3	148%	8.9	44%	21.4	73%	
病院勤務医師数	350	381	463	113	32%	31	9%	82	22%	
人口10万対	155.3	169.5	219.4	64.1	41%	14.1	9%	50.0	29%	
診療所勤務医師数	175	192	196	21	12%	17	10%	4	2%	
人口10万対	77.7	85.4	92.9	15.2	20%	7.7	10%	7.5	9%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.4	49.5	51.7	3.3	7%	1.1	2%	2.2	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	121	102	102	-19	-16%	-19	-16%	0	0%
	35-49歳	208	228	208	0	0%	20	10%	-20	-9%
	50-64歳	87	153	232	145	167%	66	76%	79	52%
	65歳以上	109	90	117	8	7%	-19	-17%	27	30%
	75歳以上(再掲)	32	48	50	18	56%	16	50%	2	4%
男性	24-34歳	97	76	70	-27	-28%	-21	-22%	-6	-8%
	35-49歳	196	200	154	-42	-21%	4	2%	-46	-23%
	50-64歳	85	145	217	132	155%	60	71%	72	50%
	65歳以上	101	86	111	10	10%	-15	-15%	25	29%
	75歳以上(再掲)	30	45	48	18	60%	15	50%	3	7%
女性	24-34歳	24	26	32	8	33%	2	8%	6	23%
	35-49歳	12	28	54	42	350%	16	133%	26	93%
	50-64歳	2	8	15	13	650%	6	300%	7	88%
	65歳以上	8	4	6	-2	-25%	-4	-50%	2	50%
	75歳以上(再掲)	2	3	2	0	0%	1	50%	-1	-33%
病院	24-34歳	116	94	99	-17	-15%	-22	-19%	5	5%
	35-49歳	156	174	169	13	8%	18	12%	-5	-3%
	50-64歳	36	81	143	107	297%	45	125%	62	77%
	65歳以上	42	32	52	10	24%	-10	-24%	20	63%
	75歳以上(再掲)	15	15	20	5	33%	0	0%	5	33%
診療所	24-34歳	5	8	3	-2	-40%	3	60%	-5	-63%
	35-49歳	52	54	39	-13	-25%	2	4%	-15	-28%
	50-64歳	51	72	89	38	75%	21	41%	17	24%
	65歳以上	67	58	65	-2	-3%	-9	-13%	7	12%
	75歳以上(再掲)	17	33	30	13	76%	16	94%	-3	-9%
	85歳以上(再掲)	2	1	13	11	550%	-1	-50%	12	1200%

東部医療圏

<医師数の推移>

東部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、整形外科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科であり、少ない診療科は、小児外科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、整形外科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、心臓血管外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	525	233.0	56	573	254.8	56	659	312.3	58	134	26%	79.3	34%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	252	111.8	61	256	113.9	62	287	136.0	65	35	14%	24.2	22%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	25	11.1	50	34	15.1	58	35	16.6	56	10	40%	5.5	49%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	25	11.1	58	34	15.1	62	37	17.5	60	12	48%	6.4	58%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	61	27.1	57	48	21.3	55	65	30.8	66	4	7%	3.7	14%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	2	0.9	45	4	1.8	49	4	1.9	47	2	100%	1.0	114%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	10	4.4	50	13	5.8	54	12	5.7	50	2	20%	1.2	28%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	51	22.6	69	43	19.1	59	50	23.7	63	-1	-2%	1.1	5%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	3	1.3	53	2	0.9	46	3	1.4	46	0	0%	0.1	7%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	7	3.1	43	11	4.9	46	13	6.2	47	6	86%	3.1	98%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	11	4.9	42	20	8.9	48	20	9.5	48	9	82%	4.6	94%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	12	5.3	45	12	5.3	45	9	4.3	40	-3	-25%	-1.1	-20%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	9	4.0	49	11	4.9	50	15	7.1	56	6	67%	3.1	78%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	29	12.9	57	21	9.3	50	16	7.6	44	-13	-45%	-5.3	-41%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	5	2.2	70	6	2.7	60	10	4.7	68	5	100%	2.5	114%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	9	4.0	52	15	6.7	60	21	10.0	63	12	133%	6.0	149%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	5	2.2	45	14	6.2	54	16	7.6	51	11	220%	5.4	242%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				1	0.4	43	3	1.4	45	2	200%	1.0	220%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				8	3.6	41	28	13.3	50	28	250%	9.7	273%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	9	4.0	49	20	8.9	57	15	7.1	50	6	67%	3.1	78%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

東部医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は34,456人(-16%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は104人(16%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は432人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は38%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

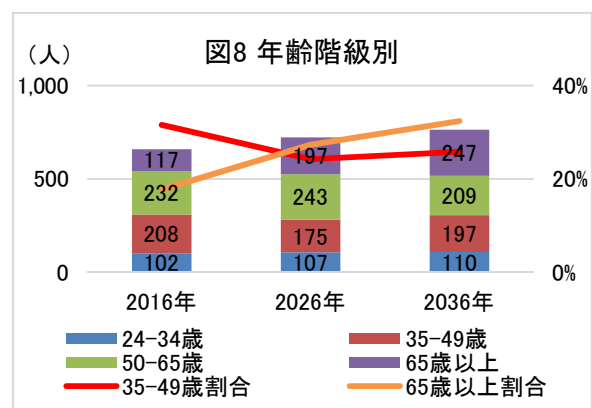
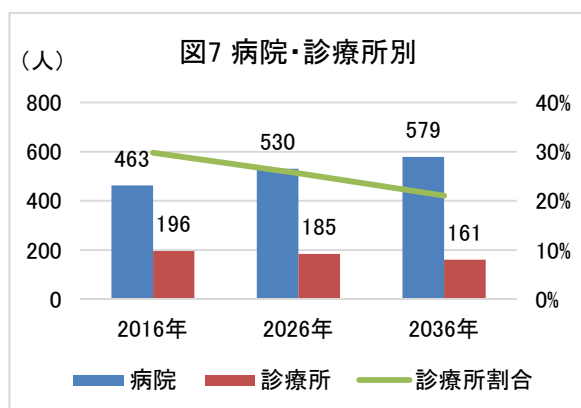
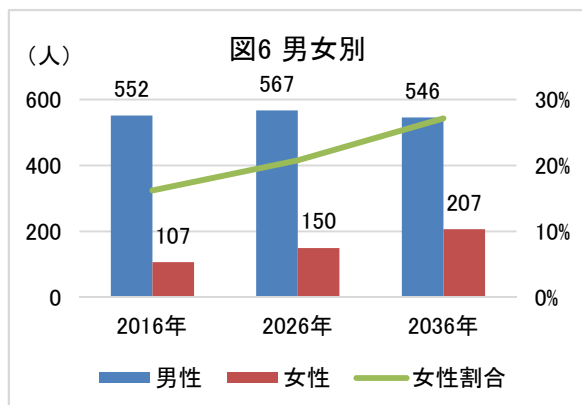
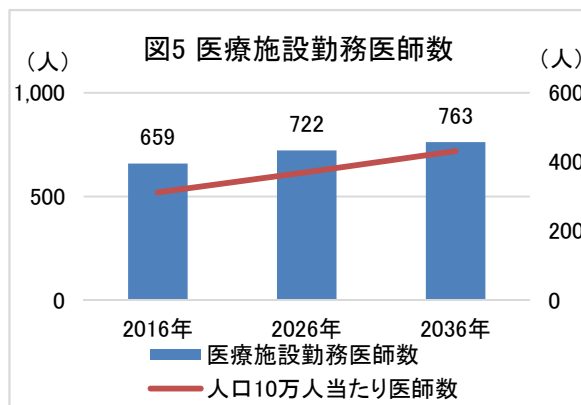
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて6人(-1%)減り、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に100人(93%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は27%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて116人(25%)増え、全国平均(25%)と同程度の増加率である。診療所医師は、同期間に35人(-18%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は21%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は11人(-5%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて130人(111%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年18%、2036年32%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



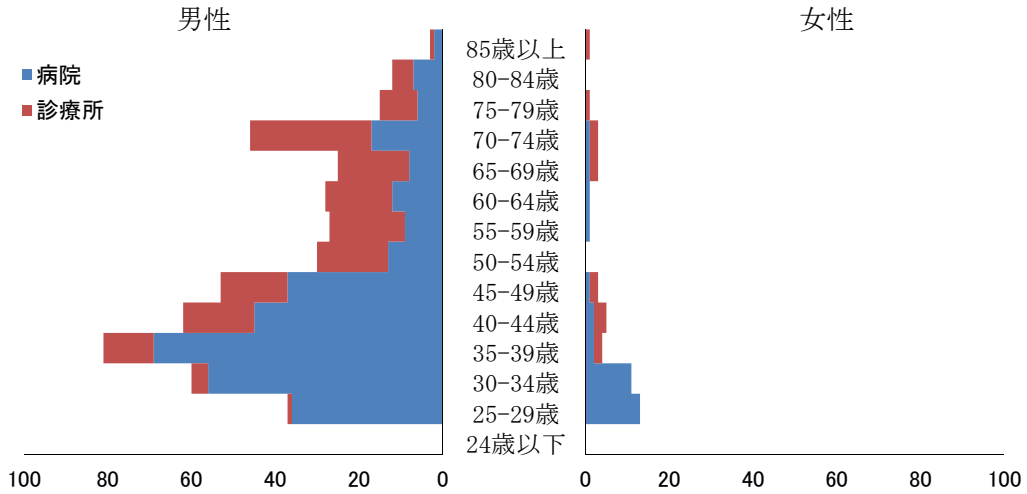
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

東部医療圏

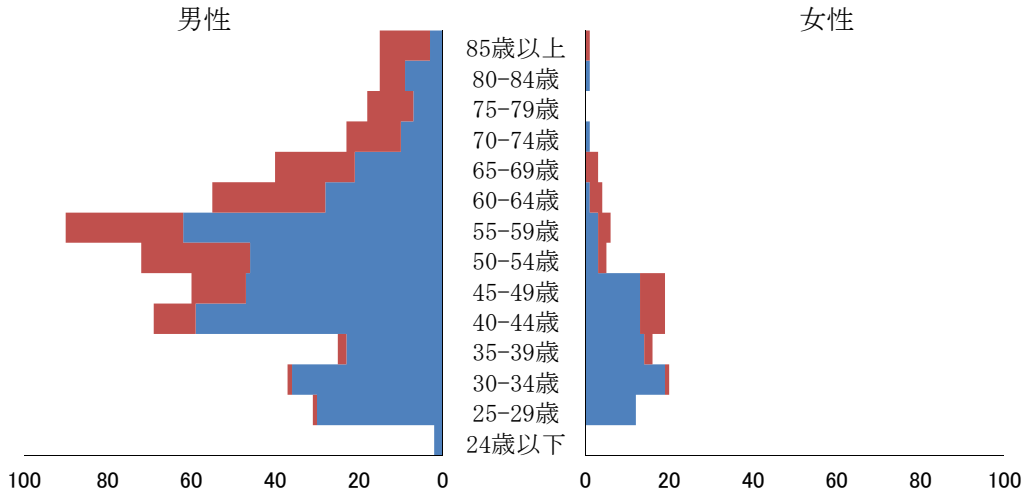
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

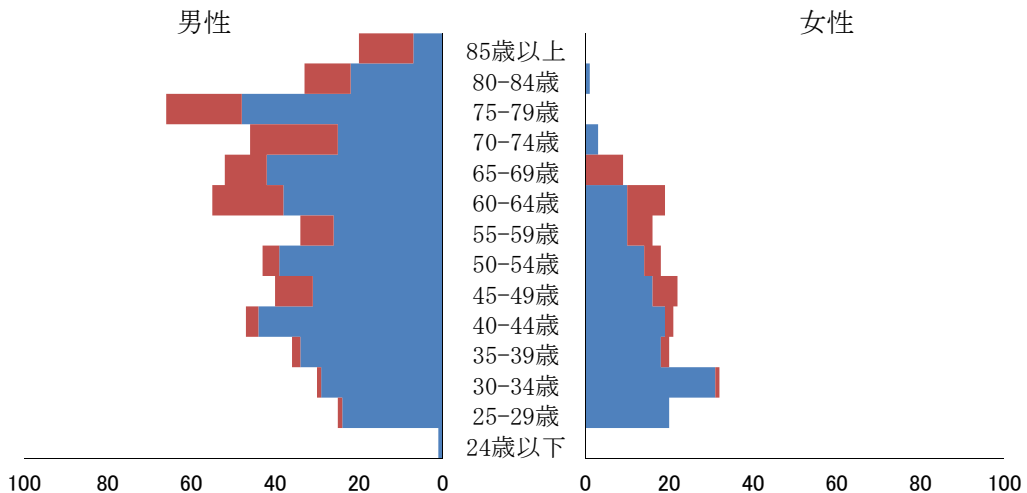
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

東部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	211,019	194,977	176,563	-34,456	-16%	-16,042	-8%	-18,414	-9%	
医療施設勤務医師数	659	722	763	104	16%	63	10%	41	6%	
人口10万対	312.3	370.3	432.1	119.8	38%	58.0	19%	61.8	17%	
男性医師数	552	567	546	-6	-1%	15	3%	-21	-4%	
人口10万対	261.6	290.8	309.2	47.7	18%	29.2	11%	18.4	6%	
女性医師数	107	150	207	100	93%	43	40%	57	38%	
人口10万対	50.7	76.9	117.2	66.5	131%	26.2	52%	40.3	52%	
病院勤務医師数	463	530	579	116	25%	67	14%	49	9%	
人口10万対	219.4	271.8	327.9	108.5	49%	52.4	24%	56.1	21%	
診療所勤務医師数	196	185	161	-35	-18%	-11	-6%	-24	-13%	
人口10万対	92.9	94.9	91.2	-1.7	-2%	2.0	2%	-3.7	-4%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	102	107	110	8	8%	5	5%	3	3%
	35-49歳	208	175	197	-11	-5%	-33	-16%	22	13%
	50-64歳	232	243	209	-23	-10%	11	5%	-34	-14%
	65歳以上	117	197	247	130	111%	80	68%	50	25%
	75歳以上(再掲)	50	72	127	77	154%	22	44%	55	76%
男性	24-34歳	70	74	56	-14	-20%	4	6%	-18	-24%
	35-49歳	154	112	126	-28	-18%	-42	-27%	14	13%
	50-64歳	217	200	148	-69	-32%	-17	-8%	-52	-26%
	65歳以上	111	181	216	105	95%	70	63%	35	19%
	75歳以上(再掲)	48	67	117	69	144%	19	40%	50	75%
女性	24-34歳	32	34	52	20	63%	2	6%	18	53%
	35-49歳	54	62	68	14	26%	8	15%	6	10%
	50-64歳	15	39	55	40	267%	24	160%	16	41%
	65歳以上	6	15	32	26	433%	9	150%	17	113%
	75歳以上(再掲)	2	2	4	2	100%	0	0%	2	100%
病院	24-34歳	99	104	107	8	8%	5	5%	3	3%
	35-49歳	169	149	166	-3	-2%	-20	-12%	17	11%
	50-64歳	143	167	145	2	1%	24	17%	-22	-13%
	65歳以上	52	110	161	109	210%	58	112%	51	46%
	75歳以上(再掲)	20	36	81	61	305%	16	80%	45	125%
診療所	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	39	24	24	-15	-38%	-15	-38%	0	0%
	50-64歳	89	72	49	-40	-45%	-17	-19%	-23	-32%
	65歳以上	65	86	85	20	31%	21	32%	-1	-1%
	75歳以上(再掲)	30	36	48	18	60%	6	20%	12	33%
	85歳以上(再掲)	13	12	14	1	8%	-1	-8%	2	17%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中部医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は16,093人(3%)増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は545人(46%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は306人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は41%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

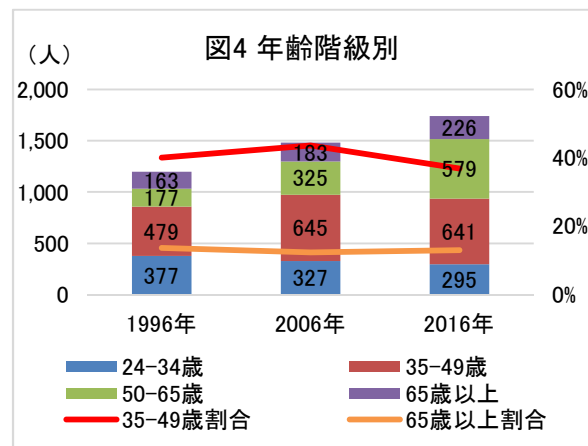
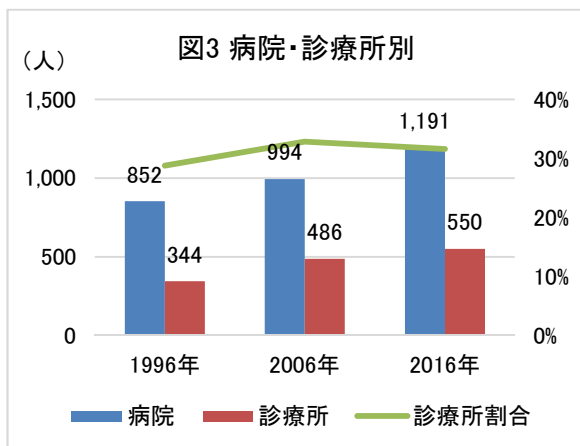
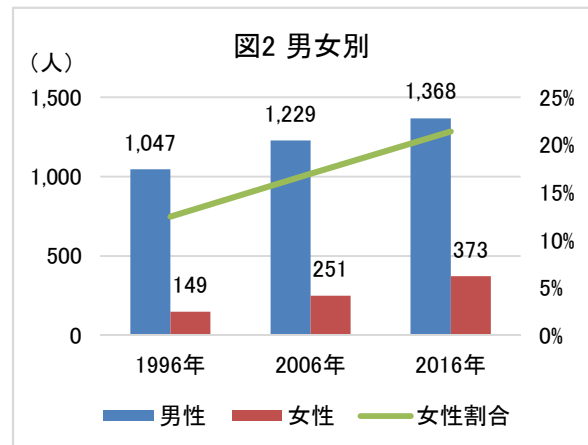
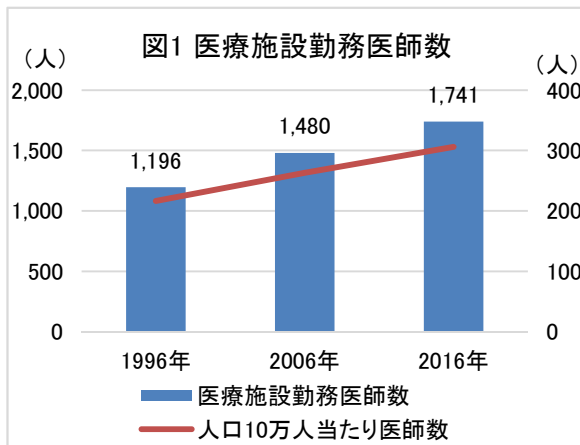
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて321人(31%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に224人(150%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は21%と、全国平均(21%)と同程度である。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて339人(40%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に206人(60%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は32%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は162人(34%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて63人(39%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年14%、2016年13%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

中部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	553,032	562,511	569,125	16,093	3%	9,479	2%	6,614	1%	
総医師数	1,274	1,579	1,814	540	42%	305	24%	235	15%	
人口10万対	230.4	280.7	318.7	88.4	38%	50.3	22%	38.0	14%	
医療施設勤務医師数	1,196	1,480	1,741	545	46%	284	24%	261	18%	
人口10万対	216.3	263.1	305.9	89.6	41%	46.8	22%	42.8	16%	
男性医師数	1,047	1,229	1,368	321	31%	182	17%	139	11%	
人口10万対	189.3	218.5	240.4	51.0	27%	29.2	15%	21.9	10%	
女性医師数	149	251	373	224	150%	102	68%	122	49%	
人口10万対	26.9	44.6	65.5	38.6	143%	17.7	66%	20.9	47%	
病院勤務医師数	852	994	1,191	339	40%	142	17%	197	20%	
人口10万対	154.1	176.7	209.3	55.2	36%	22.6	15%	32.6	18%	
診療所勤務医師数	344	486	550	206	60%	142	41%	64	13%	
人口10万対	62.2	86.4	96.6	34.4	55%	24.2	39%	10.2	12%	
医療施設勤務医 平均年齢	44.5	46.6	49.3	4.9	11%	2.2	5%	2.7	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	377	327	295	-82	-22%	-50	-13%	-32	-10%
	35-49歳	479	645	641	162	34%	166	35%	-4	-1%
	50-64歳	177	325	579	402	227%	148	84%	254	78%
	65歳以上	163	183	226	63	39%	20	12%	43	23%
	75歳以上(再掲)	37	84	89	52	141%	47	127%	5	6%
男性	24-34歳	285	221	186	-99	-35%	-64	-22%	-35	-16%
	35-49歳	439	534	471	32	7%	95	22%	-63	-12%
	50-64歳	168	297	502	334	199%	129	77%	205	69%
	65歳以上	155	177	209	54	35%	22	14%	32	18%
	75歳以上(再掲)	35	82	85	50	143%	47	134%	3	4%
女性	24-34歳	92	106	109	17	18%	14	15%	3	3%
	35-49歳	40	111	170	130	325%	71	178%	59	53%
	50-64歳	9	28	77	68	756%	19	211%	49	175%
	65歳以上	8	6	17	9	113%	-2	-25%	11	183%
	75歳以上(再掲)	2	2	4	2	100%	0	0%	2	100%
病院	24-34歳	363	323	290	-73	-20%	-40	-11%	-33	-10%
	35-49歳	362	476	512	150	41%	114	31%	36	8%
	50-64歳	75	127	307	232	309%	52	69%	180	142%
	65歳以上	52	68	82	30	58%	16	31%	14	21%
	75歳以上(再掲)	12	36	36	24	200%	24	200%	0	0%
診療所	24-34歳	14	4	5	-9	-64%	-10	-71%	1	25%
	35-49歳	117	169	129	12	10%	52	44%	-40	-24%
	50-64歳	102	198	272	170	167%	96	94%	74	37%
	65歳以上	111	115	144	33	30%	4	4%	29	25%
	75歳以上(再掲)	25	48	53	28	112%	23	92%	5	10%
	85歳以上(再掲)	6	7	12	6	100%	1	17%	5	71%

中部医療圏

＜医師数の推移＞

中部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、放射線科、麻酔科であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科はない。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,196	216.3	54	1,480	263.1	57	1,741	305.9	57	545	46%	89.6	41%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	492	89.0	54	553	98.3	57	652	114.6	58	160	33%	25.6	29%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	75	13.6	56	86	15.3	59	100	17.6	58	25	33%	4.0	30%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	63	11.4	58	88	15.6	63	105	18.4	61	42	67%	7.1	62%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	121	21.9	51	127	22.6	56	128	22.5	55	7	6%	0.6	3%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	3	0.5	52	3	0.5	50	5	0.9	54	2	67%	0.3	62%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	14	2.5	56	15	2.7	54	22	3.9	58	8	57%	1.3	53%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	38	6.9	59	36	6.4	57	45	7.9	58	7	18%	1.0	15%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	73	13.2	50	94	16.7	54	117	20.6	57	44	60%	7.4	56%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	10	1.8	57	12	2.1	55	17	3.0	56	7	70%	1.2	65%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	37	6.7	54	43	7.6	55	47	8.3	53	10	27%	1.6	23%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	43	7.8	48	53	9.4	49	61	10.7	51	18	42%	2.9	38%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	36	6.5	49	40	7.1	50	41	7.2	50	5	14%	0.7	11%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	31	5.6	56	40	7.1	60	50	8.8	63	19	61%	3.2	57%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	61	11.0	53	63	11.2	55	69	12.1	54	8	13%	1.1	10%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	0.4	45	11	2.0	54	9	1.6	48	7	350%	1.2	337%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	31	5.6	57	40	7.1	61	45	7.9	57	14	45%	2.3	41%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	34	6.1	56	51	9.1	63	66	11.6	60	32	94%	5.4	89%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				8	1.4	51	16	2.8	51	8	100%	1.4	98%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				72	12.8	52	100	17.6	55	100	39%	4.8	37%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	32	5.8	53	45	8.0	56	46	8.1	51	14	44%	2.3	40%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

中部医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は46,394人(-8%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は412人(24%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は412人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は35%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

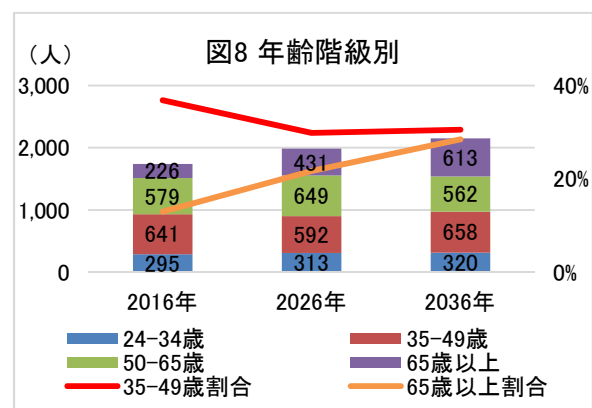
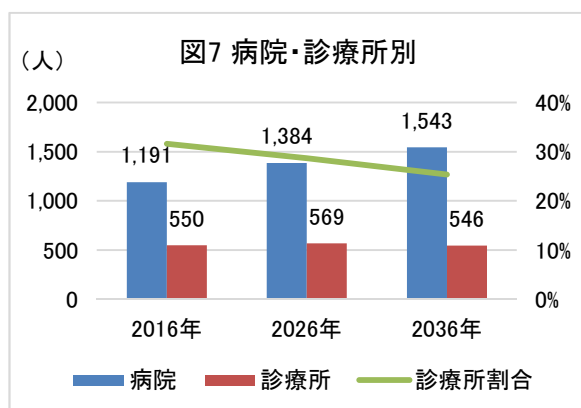
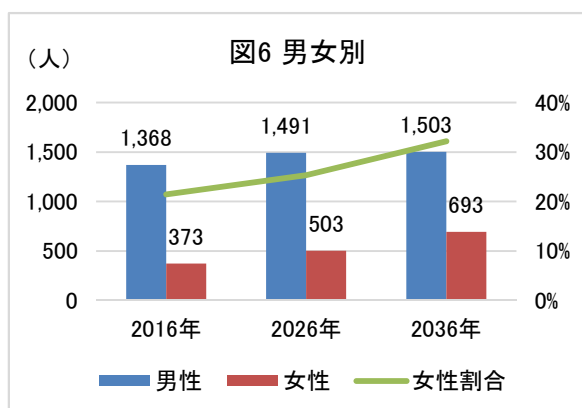
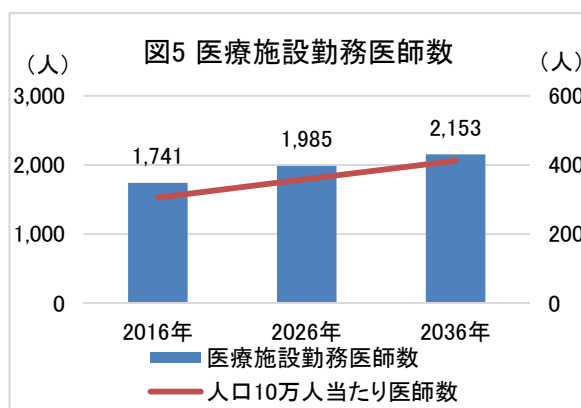
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて135人(10%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に320人(86%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は32%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて352人(30%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に4人(-1%)減り、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は25%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は17人(3%)増え、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて387人(171%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年13%、2036年28%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



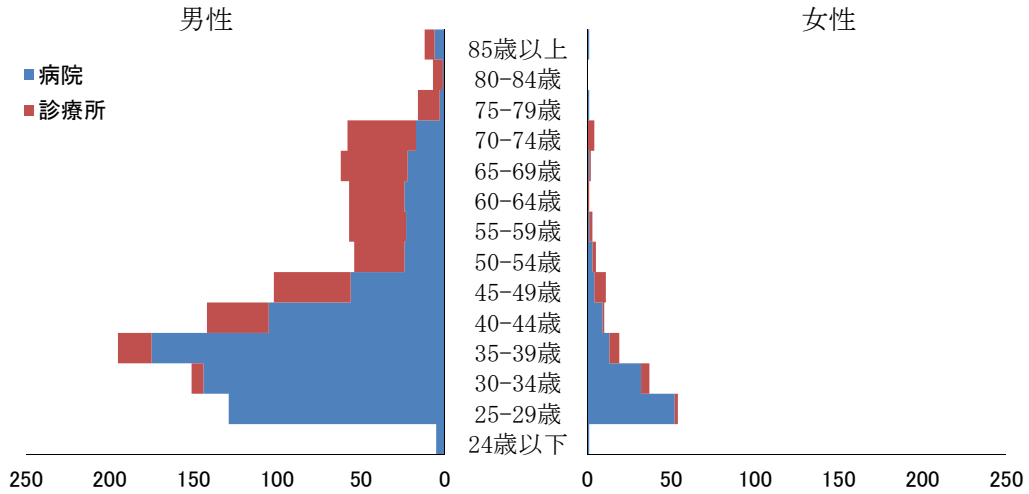
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中部医療圏

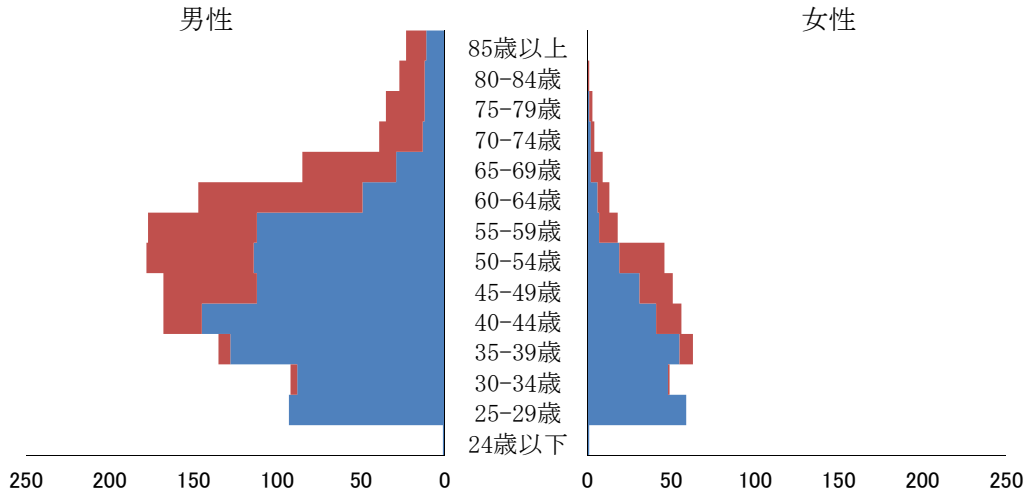
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

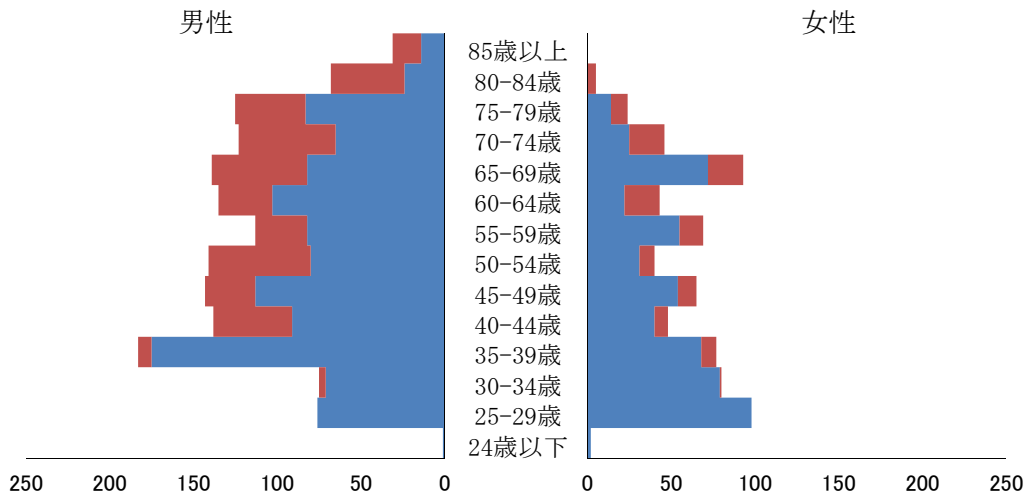
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

中部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	569,125	552,631	522,731	-46,394	-8%	-16,494	-3%	-29,900	-5%	
医療施設勤務医師数	1,741	1,985	2,153	412	24%	244	14%	168	8%	
人口10万対	305.9	359.2	411.9	106.0	35%	53.3	17%	52.7	15%	
男性医師数	1,368	1,491	1,503	135	10%	123	9%	12	1%	
人口10万対	240.4	269.8	287.5	47.2	20%	29.4	12%	17.7	7%	
女性医師数	373	503	693	320	86%	130	35%	190	38%	
人口10万対	65.5	91.0	132.6	67.0	102%	25.5	39%	41.6	46%	
病院勤務医師数	1,191	1,384	1,543	352	30%	193	16%	159	11%	
人口10万対	209.3	250.4	295.2	85.9	41%	41.2	20%	44.7	18%	
診療所勤務医師数	550	569	546	-4	-1%	19	3%	-23	-4%	
人口10万対	96.6	103.0	104.5	7.8	8%	6.3	7%	1.5	1%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	295	313	25	8%	18	6%	7	2%	
	35-49歳	641	592	658	17	3%	-49	-8%	66	11%
	50-64歳	579	649	562	-17	-3%	70	12%	-87	-13%
	65歳以上	226	431	613	387	171%	205	91%	182	42%
	75歳以上(再掲)	89	119	244	155	174%	30	34%	125	105%
男性	24-34歳	186	196	151	-35	-19%	10	5%	-45	-23%
	35-49歳	471	407	459	-12	-3%	-64	-14%	52	13%
	50-64歳	502	499	394	-108	-22%	-3	-1%	-105	-21%
	65歳以上	209	389	499	290	139%	180	86%	110	28%
	75歳以上(再掲)	85	108	217	132	155%	23	27%	109	101%
女性	24-34歳	109	115	179	70	64%	6	6%	64	56%
	35-49歳	170	187	204	34	20%	17	10%	17	9%
	50-64歳	77	157	178	101	131%	80	104%	21	13%
	65歳以上	17	44	132	115	676%	27	159%	88	200%
	75歳以上(再掲)	4	13	31	27	675%	9	225%	18	138%
病院	24-34歳	290	307	315	25	9%	17	6%	8	3%
	35-49歳	512	485	535	23	4%	-27	-5%	50	10%
	50-64歳	307	399	364	57	19%	92	30%	-35	-9%
	65歳以上	82	193	329	247	301%	111	135%	136	70%
	75歳以上(再掲)	36	50	137	101	281%	14	39%	87	174%
診療所	24-34歳	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	129	105	107	-22	-17%	-24	-19%	2	2%
	50-64歳	272	225	159	-113	-42%	-47	-17%	-66	-29%
	65歳以上	144	234	275	131	91%	90	63%	41	18%
	75歳以上(再掲)	53	71	116	63	119%	18	34%	45	63%
	85歳以上(再掲)	12	13	18	6	50%	1	8%	5	38%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

南部医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は15,905人(-18%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は6人(-4%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は181人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は17%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

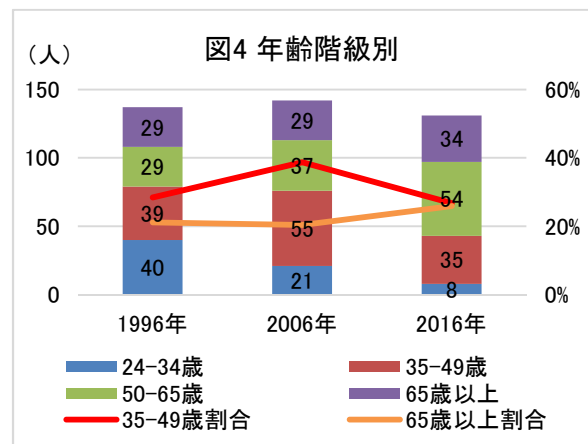
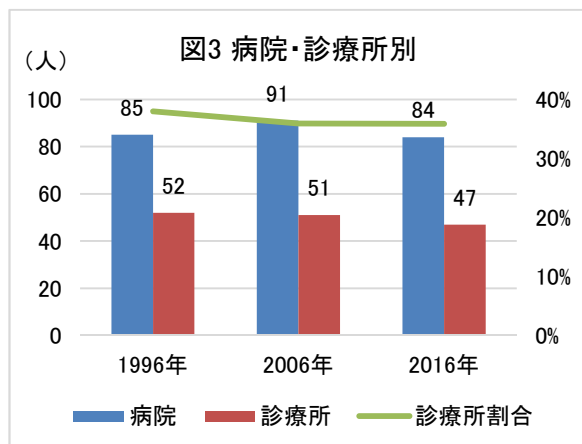
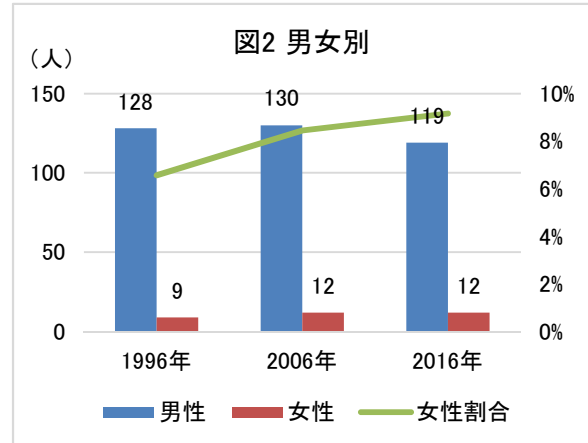
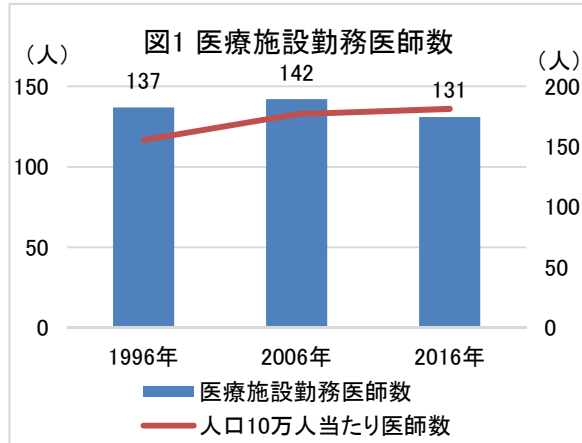
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて9人(-7%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に3人(33%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は9%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて1人(-1%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に5人(-10%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は36%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は4人(-10%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて5人(17%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年21%、2016年26%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

南部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	88,116	80,297	72,211	-15,905	-18%	-7,819	-9%	-8,086	-10%	
総医師数	140	146	137	-3	-2%	6	4%	-9	-6%	
人口10万対	158.9	181.8	189.7	30.8	19%	22.9	14%	7.9	4%	
医療施設勤務医師数	137	142	131	-6	-4%	5	4%	-11	-8%	
人口10万対	155.5	176.8	181.4	25.9	17%	21.4	14%	4.6	3%	
男性医師数	128	130	119	-9	-7%	2	2%	-11	-8%	
人口10万対	145.3	161.9	164.8	19.5	13%	16.6	11%	2.9	2%	
女性医師数	9	12	12	3	33%	3	33%	0	0%	
人口10万対	10.2	14.9	16.6	6.4	63%	4.7	46%	1.7	11%	
病院勤務医師数	85	91	84	-1	-1%	6	7%	-7	-8%	
人口10万対	96.5	113.3	116.3	19.9	21%	16.9	17%	3.0	3%	
診療所勤務医師数	52	51	47	-5	-10%	-1	-2%	-4	-8%	
人口10万対	59.0	63.5	65.1	6.1	10%	4.5	8%	1.6	2%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.7	51.4	56.2	7.5	15%	2.7	6%	4.8	9%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	40	21	8	-32	-80%	-19	-48%	-13	-62%
	35-49歳	39	55	35	-4	-10%	16	41%	-20	-36%
	50-64歳	29	37	54	25	86%	8	28%	17	46%
	65歳以上	29	29	34	5	17%	0	0%	5	17%
	75歳以上(再掲)	9	13	11	2	22%	4	44%	-2	-15%
男性	24-34歳	34	16	7	-27	-79%	-18	-53%	-9	-56%
	35-49歳	36	49	28	-8	-22%	13	36%	-21	-43%
	50-64歳	29	36	50	21	72%	7	24%	14	39%
	65歳以上	29	29	34	5	17%	0	0%	5	17%
	75歳以上(再掲)	9	13	11	2	22%	4	44%	-2	-15%
女性	24-34歳	6	5	1	-5	-83%	-1	-17%	-4	-80%
	35-49歳	3	6	7	4	133%	3	100%	1	17%
	50-64歳	0	1	4	4		1		3	300%
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	39	17	8	-31	-79%	-22	-56%	-9	-53%
	35-49歳	27	40	28	1	4%	13	48%	-12	-30%
	50-64歳	12	21	31	19	158%	9	75%	10	48%
	65歳以上	7	13	17	10	143%	6	86%	4	31%
	75歳以上(再掲)	3	5	5	2	67%	2	67%	0	0%
診療所	24-34歳	1	4	0	-1	-100%	3	300%	-4	-100%
	35-49歳	12	15	7	-5	-42%	3	25%	-8	-53%
	50-64歳	17	16	23	6	35%	-1	-6%	7	44%
	65歳以上	22	16	17	-5	-23%	-6	-27%	1	6%
	75歳以上(再掲)	6	8	6	0	0%	2	33%	-2	-25%
	85歳以上(再掲)	2	1	3	1	50%	-1	-50%	2	200%

南部医療圏

＜医師数の推移＞

南部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、脳神経外科、泌尿器科であり、少ない診療科は、小児科、精神科、小児外科、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、放射線科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、脳神経外科、泌尿器科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	137	155.5	47	142	176.8	46	131	181.4	43	-6	-4%	25.9	17%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	74	84.0	53	77	95.9	56	64	88.6	50	-10	-14%	4.6	6%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	7	7.9	43	7	8.7	44	5	6.9	38	-2	-29%	-1.0	-13%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	1	1.1	33	4	5.0	39	5	6.9	40	4	400%	5.8	510%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	19	21.6	51	14	17.4	49	14	19.4	51	-5	-26%	-2.2	-10%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	2	2.5	53	1	1.4	44	1	0%	1.4	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	3	3.4	46	2	2.5	40	6	8.3	60	3	100%	4.9	144%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	9	10.2	44	12	14.9	50	13	18.0	52	4	44%	7.8	76%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	2	2.3	41	2	2.5	39	2	2.8	38	0	0%	0.5	22%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	5	5.7	43	5	6.2	42	5	6.9	42	0	0%	1.2	22%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	3	3.4	40	4	5.0	44	1	1.4	31	-2	-67%	-2.0	-59%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	2	2.3	42	3	3.7	45	5	6.9	55	3	150%	4.7	205%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	6	6.8	43	5	6.2	42	4	5.5	40	-2	-33%	-1.3	-19%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	4	4.5	54	1	1.2	41	2	2.8	43	-2	-50%	-1.8	-39%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	2	2.5	43	2	2.8	40	2	0%	2.8	0%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				1	1.2	38	0	0.0	36	0	-100%	-1.2	-100%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	2.3	45	1	1.2	42	2	2.8	42	0	0%	0.5	22%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

南部医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は17,777人(-25%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は33人(-25%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は180人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は-1%減り、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

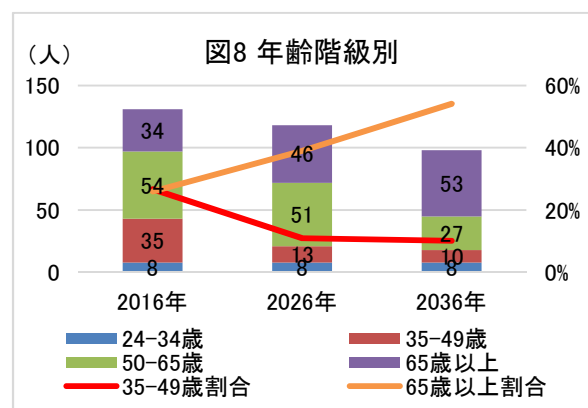
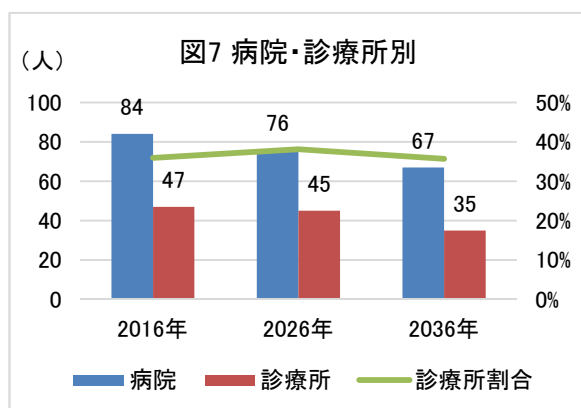
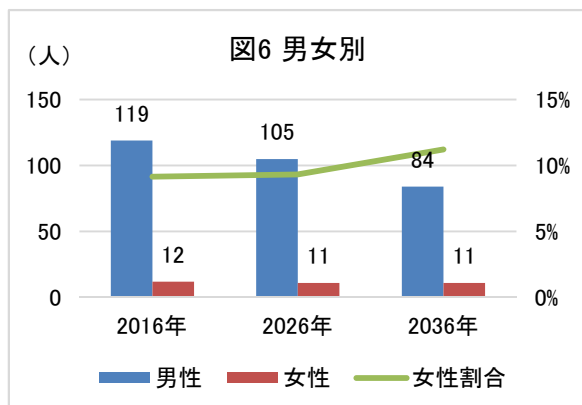
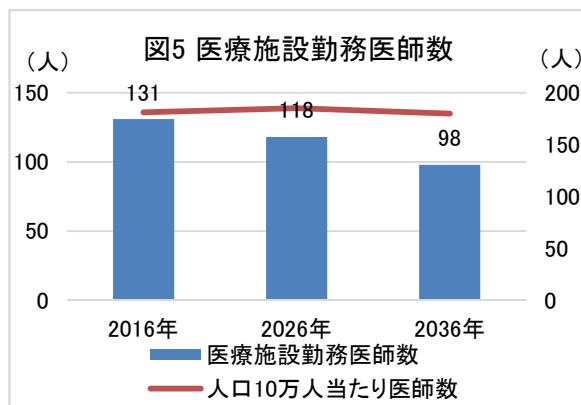
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて35人(-29%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に1人(-8%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は11%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて17人(-20%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に12人(-26%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は36%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は25人(-71%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて19人(56%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年26%、2036年54%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



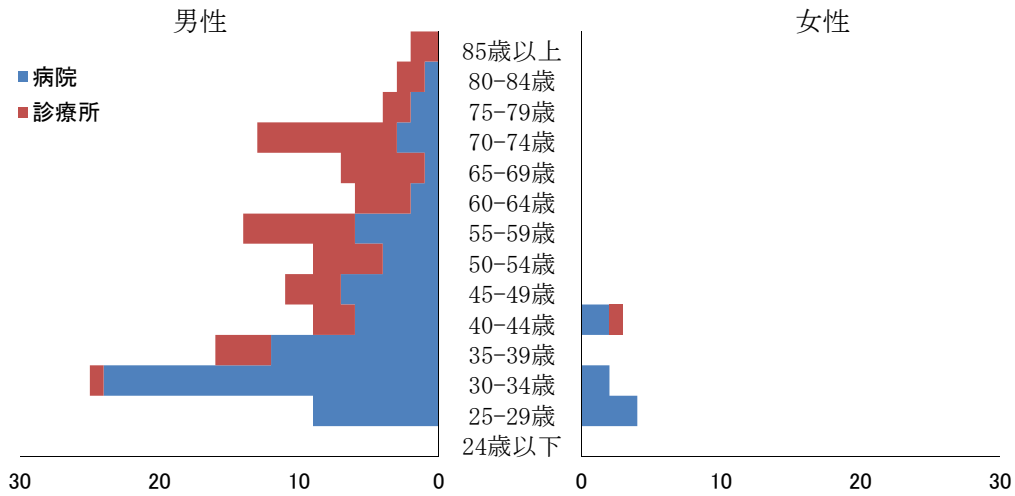
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

南部医療圏

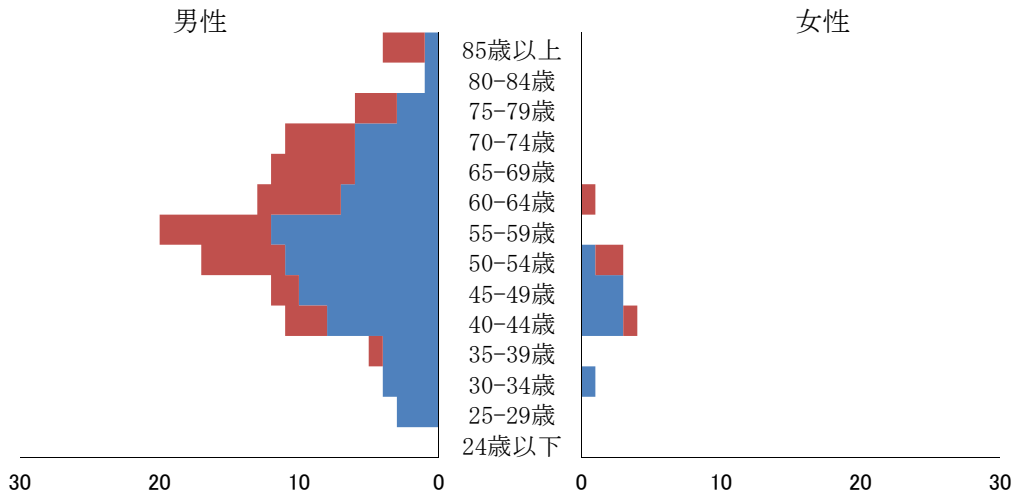
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

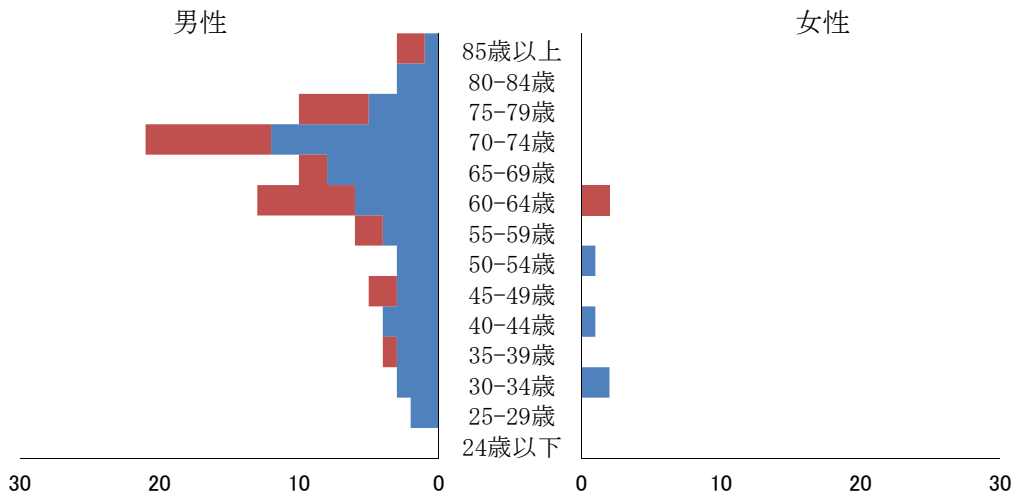
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

南部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	72,211	63,713	54,434	-17,777	-25%	-8,498	-12%	-9,279	-15%	
医療施設勤務医師数	131	118	98	-33	-25%	-13	-10%	-20	-17%	
人口10万対	181.4	185.2	180.0	-1.4	-1%	3.8	2%	-5.2	-3%	
男性医師数	119	105	84	-35	-29%	-14	-12%	-21	-20%	
人口10万対	164.8	164.8	154.3	-10.5	-6%	0.0	0%	-10.5	-6%	
女性医師数	12	11	11	-1	-8%	-1	-8%	0	0%	
人口10万対	16.6	17.3	20.2	3.6	22%	0.6	4%	2.9	17%	
病院勤務医師数	84	76	67	-17	-20%	-8	-10%	-9	-12%	
人口10万対	116.3	119.3	123.1	6.8	6%	3.0	3%	3.8	3%	
診療所勤務医師数	47	45	35	-12	-26%	-2	-4%	-10	-22%	
人口10万対	65.1	70.6	64.3	-0.8	-1%	5.5	9%	-6.3	-9%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	8	8	8	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	35	13	10	-25	-71%	-22	-63%	-3	-23%
	50-64歳	54	51	27	-27	-50%	-3	-6%	-24	-47%
	65歳以上	34	46	53	19	56%	12	35%	7	15%
	75歳以上(再掲)	11	12	17	6	55%	1	9%	5	42%
男性	24-34歳	7	7	5	-2	-29%	0	0%	-2	-29%
	35-49歳	28	12	10	-18	-64%	-16	-57%	-2	-17%
	50-64歳	50	41	21	-29	-58%	-9	-18%	-20	-49%
	65歳以上	34	45	48	14	41%	11	32%	3	7%
	75歳以上(再掲)	11	12	17	6	55%	1	9%	5	42%
女性	24-34歳	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%
	35-49歳	7	1	1	-6	-86%	-6	-86%	0	0%
	50-64歳	4	9	8	4	100%	5	125%	-1	-11%
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	8	8	8	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	28	10	10	-18	-64%	-18	-64%	0	0%
	50-64歳	31	34	16	-15	-48%	3	10%	-18	-53%
	65歳以上	17	24	33	16	94%	7	41%	9	38%
	75歳以上(再掲)	5	7	9	4	80%	2	40%	2	29%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	7	3	3	-4	-57%	-4	-57%	0	0%
	50-64歳	23	19	11	-12	-52%	-4	-17%	-8	-42%
	65歳以上	17	23	21	4	24%	6	35%	-2	-9%
	75歳以上(再掲)	6	6	7	1	17%	0	0%	1	17%
	85歳以上(再掲)	3	2	2	-1	-33%	-1	-33%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

豊肥医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は16,643人(-22%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は1人(-1%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は192人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は27%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

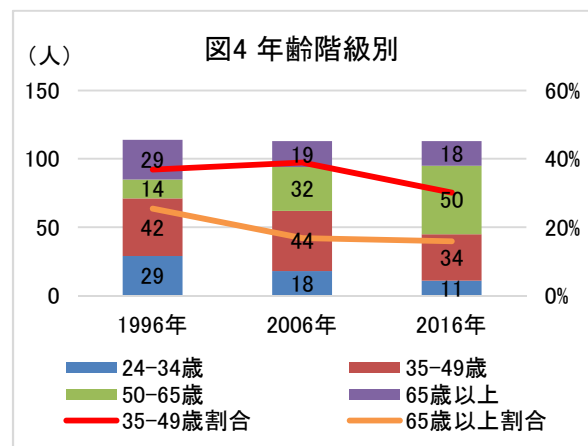
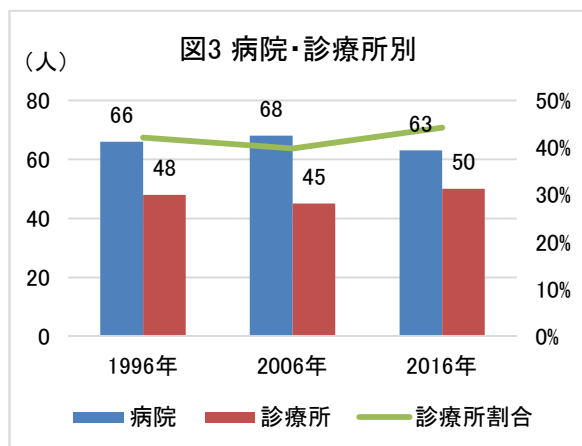
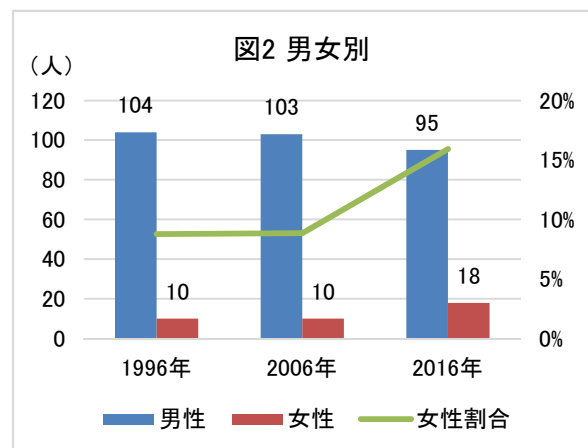
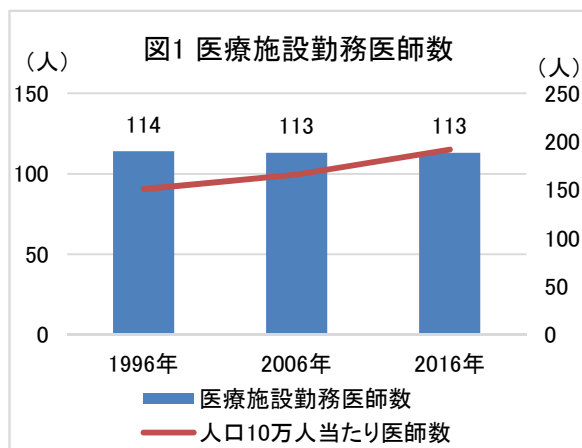
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて9人(-9%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に8人(80%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は16%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて3人(-5%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に2人(4%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は44%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は8人(-19%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて11人(-38%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年25%、2016年16%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

豊肥医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	75,559	68,082	58,916	-16,643	-22%	-7,477	-10%	-9,166	-13%	
総医師数	122	119	118	-4	-3%	-3	-2%	-1	-1%	
人口10万対	161.5	174.8	200.3	38.8	24%	13.3	8%	25.5	15%	
医療施設勤務医師数	114	113	113	-1	-1%	-1	-1%	0	0%	
人口10万対	150.9	166.0	191.8	40.9	27%	15.1	10%	25.8	16%	
男性医師数	104	103	95	-9	-9%	-1	-1%	-8	-8%	
人口10万対	137.6	151.3	161.2	23.6	17%	13.6	10%	10.0	7%	
女性医師数	10	10	18	8	80%	0	0%	8	80%	
人口10万対	13.2	14.7	30.6	17.3	131%	1.5	11%	15.9	108%	
病院勤務医師数	66	68	63	-3	-5%	2	3%	-5	-7%	
人口10万対	87.3	99.9	106.9	19.6	22%	12.5	14%	7.1	7%	
診療所勤務医師数	48	45	50	2	4%	-3	-6%	5	11%	
人口10万対	63.5	66.1	84.9	21.3	34%	2.6	4%	18.8	28%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.0	50.3	53.1	4.1	8%	1.3	3%	2.8	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	29	18	11	-18	-62%	-11	-38%	-7	-39%
	35-49歳	42	44	34	-8	-19%	2	5%	-10	-23%
	50-64歳	14	32	50	36	257%	18	129%	18	56%
	65歳以上	29	19	18	-11	-38%	-10	-34%	-1	-5%
	75歳以上(再掲)	9	12	5	-4	-44%	3	33%	-7	-58%
男性	24-34歳	24	18	5	-19	-79%	-6	-25%	-13	-72%
	35-49歳	39	38	30	-9	-23%	-1	-3%	-8	-21%
	50-64歳	14	30	43	29	207%	16	114%	13	43%
	65歳以上	27	17	17	-10	-37%	-10	-37%	0	0%
	75歳以上(再掲)	9	10	5	-4	-44%	1	11%	-5	-50%
女性	24-34歳	5	0	6	1	20%	-5	-100%	6	
	35-49歳	3	6	4	1	33%	3	100%	-2	-33%
	50-64歳	0	2	7	7		2		5	250%
	65歳以上	2	2	1	-1	-50%	0	0%	-1	-50%
	75歳以上(再掲)	0	2	0	0		2		-2	-100%
病院	24-34歳	28	17	10	-18	-64%	-11	-39%	-7	-41%
	35-49歳	23	27	26	3	13%	4	17%	-1	-4%
	50-64歳	6	17	20	14	233%	11	183%	3	18%
	65歳以上	9	7	7	-2	-22%	-2	-22%	0	0%
	75歳以上(再掲)	3	5	1	-2	-67%	2	67%	-4	-80%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	19	17	8	-11	-58%	-2	-11%	-9	-53%
	50-64歳	8	15	30	22	275%	7	88%	15	100%
	65歳以上	20	12	11	-9	-45%	-8	-40%	-1	-8%
	75歳以上(再掲)	6	7	4	-2	-33%	1	17%	-3	-43%
	85歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	

豊肥医療圏

＜医師数の推移＞

豊肥医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、整形外科であり、少ない診療科は、小児科、精神科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、眼科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、耳鼻咽喉科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	114	150.9	46	113	166.0	45	113	191.8	45	-1	-1%	40.9	27%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	70	92.6	55	65	95.5	56	64	108.6	56	-6	-9%	16.0	17%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	4	5.3	37	5	7.3	41	5	8.5	41	1	25%	3.2	60%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	3	4.0	40	3	4.4	38	5	8.5	43	2	67%	4.5	114%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	15	19.9	49	14	20.6	53	11	18.7	50	-4	-27%	-1.2	-6%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0	0.0	0.0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	0	0.0	32	1	1.5	35	1	1.7	34	1	1	1.7	1.7
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	10	13.2	50	12	17.6	56	13	22.1	60	3	30%	8.8	67%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0	0.0	0.0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	0	0.0	34	1	1.5	36	1	1.7	35	1	1	1.7	1.7
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	4	5.3	43	4	5.9	41	3	5.1	37	-1	-25%	-0.2	-4%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	1	1.3	34	1	1.5	33	2	3.4	38	1	100%	2.1	156%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	0	0.0	32	2	2.9	42	1	1.7	35	1	1	1.7	1.7
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	4	5.3	39	3	4.4	38	3	5.1	39	-1	-25%	-0.2	-4%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0	0.0	0.0
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	37	1	1.7	41	1	1	1.7	1.7
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	2.6	46	2	2.9	44	2	3.4	41	0	0%	0.7	28%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0	0.0	0.0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0	0.0	0.0
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	1.3	43	0	0.0	40	1	1.7	40	0	0%	0.4	28%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

豊肥医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は16,430人(-28%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は18人(-16%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は224人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は17%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

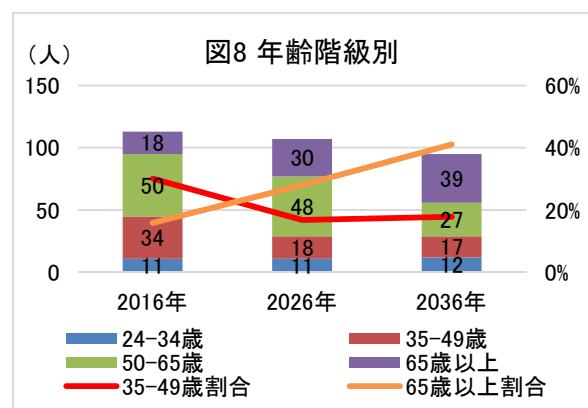
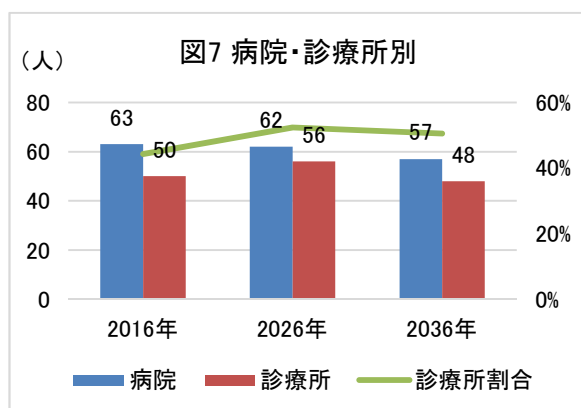
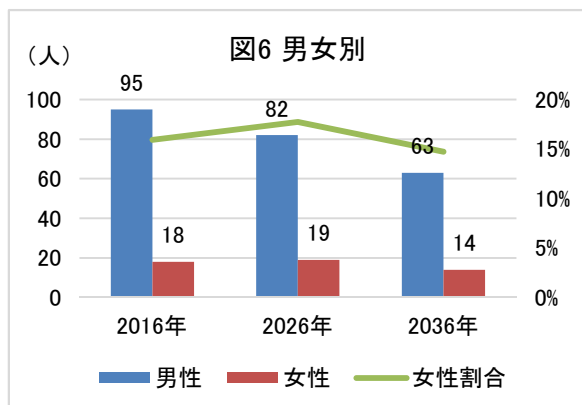
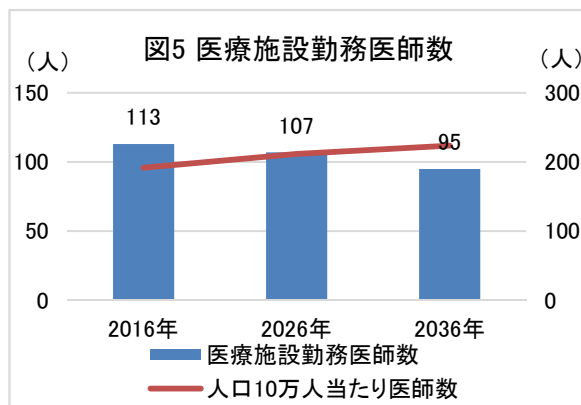
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて32人(-34%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に4人(-22%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は15%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて6人(-10%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に2人(-4%)減り、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は51%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は17人(-50%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて21人(117%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年16%、2036年41%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



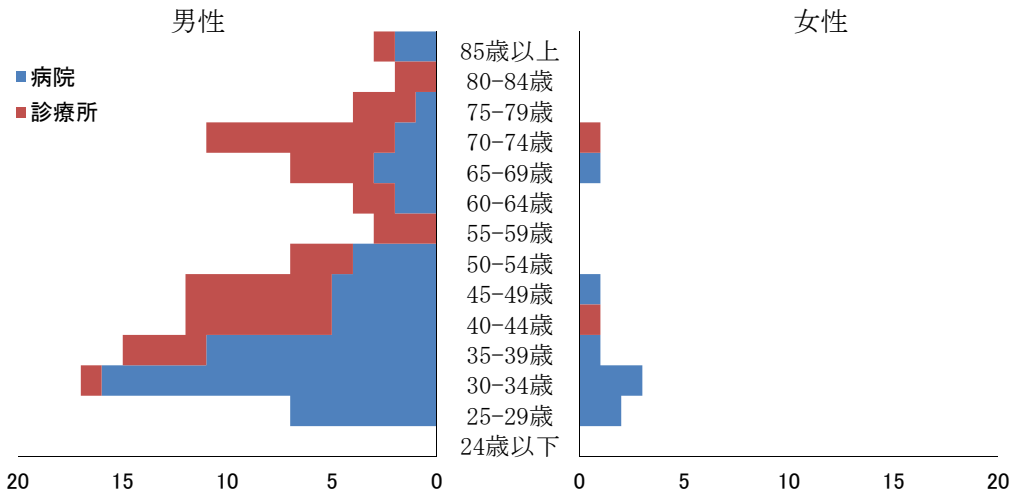
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

豊肥医療圏

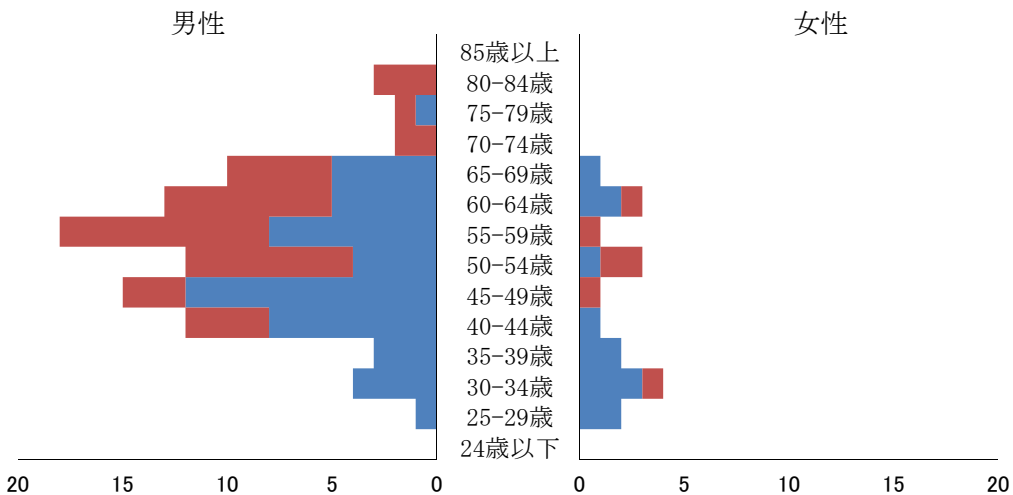
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

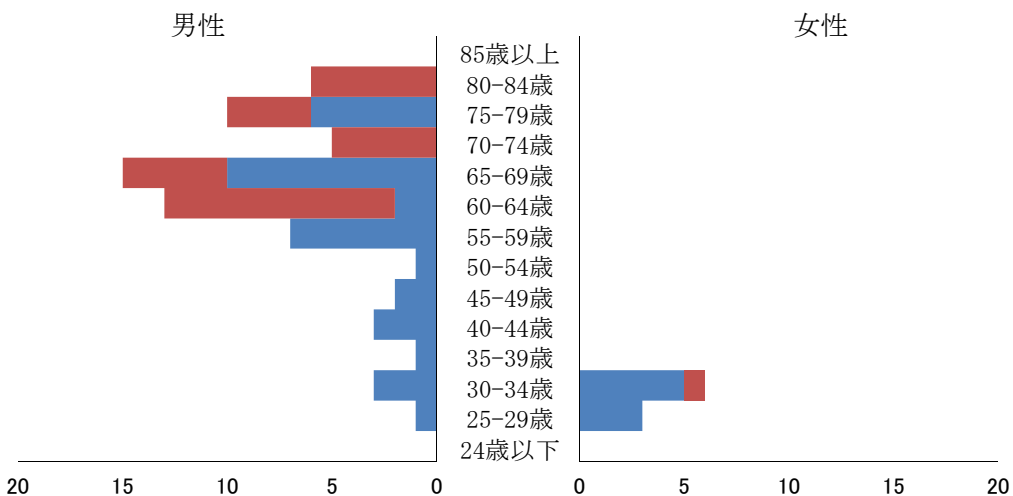
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

豊肥医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	58,916	50,512	42,486	-16,430	-28%	-8,404	-14%	-8,026	-16%	
医療施設勤務医師数	113	107	95	-18	-16%	-6	-5%	-12	-11%	
人口10万対	191.8	211.8	223.6	31.8	17%	20.0	10%	11.8	6%	
男性医師数	95	82	63	-32	-34%	-13	-14%	-19	-23%	
人口10万対	161.2	162.3	148.3	-13.0	-8%	1.1	1%	-14.1	-9%	
女性医師数	18	19	14	-4	-22%	1	6%	-5	-26%	
人口10万対	30.6	37.6	33.0	2.4	8%	7.1	23%	-4.7	-12%	
病院勤務医師数	63	62	57	-6	-10%	-1	-2%	-5	-8%	
人口10万対	106.9	122.7	134.2	27.2	25%	15.8	15%	11.4	9%	
診療所勤務医師数	50	56	48	-2	-4%	6	12%	-8	-14%	
人口10万対	84.9	110.9	113.0	28.1	33%	26.0	31%	2.1	2%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	11	11	12	1	9%	0	0%	1	9%
	35-49歳	34	18	17	-17	-50%	-16	-47%	-1	-6%
	50-64歳	50	48	27	-23	-46%	-2	-4%	-21	-44%
	65歳以上	18	30	39	21	117%	12	67%	9	30%
	75歳以上(再掲)	5	8	14	9	180%	3	60%	6	75%
男性	24-34歳	5	5	4	-1	-20%	0	0%	-1	-20%
	35-49歳	30	9	6	-24	-80%	-21	-70%	-3	-33%
	50-64歳	43	41	19	-24	-56%	-2	-5%	-22	-54%
	65歳以上	17	27	34	17	100%	10	59%	7	26%
	75歳以上(再掲)	5	7	12	7	140%	2	40%	5	71%
女性	24-34歳	6	6	9	3	50%	0	0%	3	50%
	35-49歳	4	1	0	-4	-100%	-3	-75%	-1	-100%
	50-64歳	7	11	4	-3	-43%	4	57%	-7	-64%
	65歳以上	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	10	10	11	1	10%	0	0%	1	10%
	35-49歳	26	18	15	-11	-42%	-8	-31%	-3	-17%
	50-64歳	20	22	15	-5	-25%	2	10%	-7	-32%
	65歳以上	7	12	16	9	129%	5	71%	4	33%
	75歳以上(再掲)	1	6	6	5	500%	5	500%	0	0%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	8	4	4	-4	-50%	-4	-50%	0	0%
	50-64歳	30	27	18	-12	-40%	-3	-10%	-9	-33%
	65歳以上	11	24	25	14	127%	13	118%	1	4%
	75歳以上(再掲)	4	5	12	8	200%	1	25%	7	140%
	85歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

西部医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は19,466人(-17%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は14人(10%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は167人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は33%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

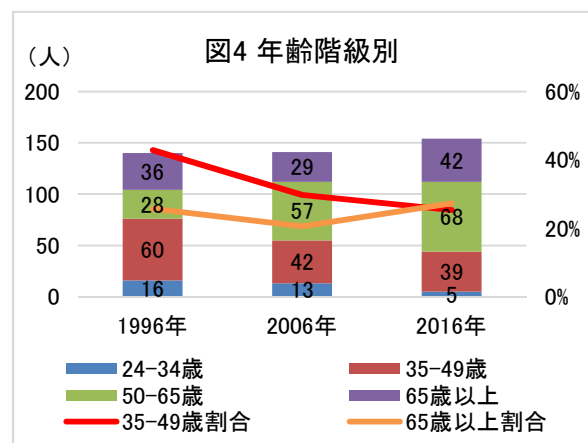
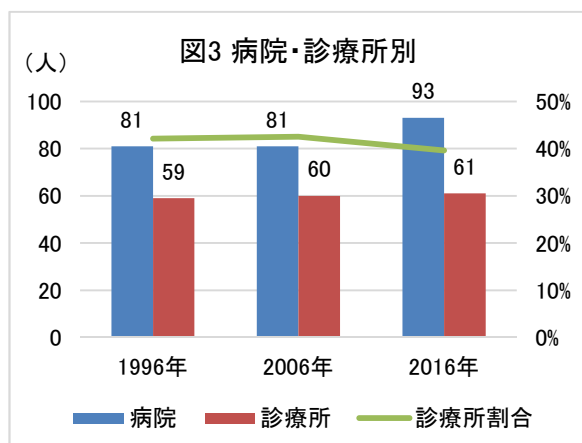
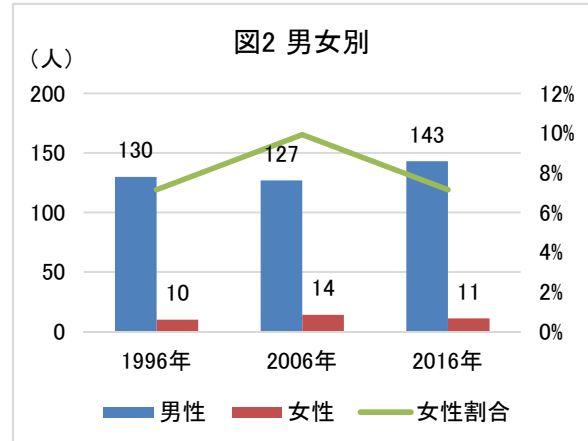
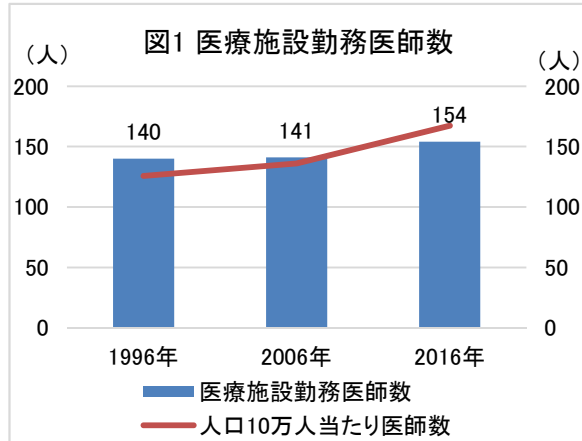
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて13人(10%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に1人(10%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は7%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて12人(15%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に2人(3%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は40%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は21人(-35%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて6人(17%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年26%、2016年27%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

西部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	111,457	103,549	91,991	-19,466	-17%	-7,908	-7%	-11,558	-11%	
総医師数	146	145	159	13	9%	-1	-1%	14	10%	
人口10万対	131.0	140.0	172.8	41.9	32%	9.0	7%	32.8	23%	
医療施設勤務医師数	140	141	154	14	10%	1	1%	13	9%	
人口10万対	125.6	136.2	167.4	41.8	33%	10.6	8%	31.2	23%	
男性医師数	130	127	143	13	10%	-3	-2%	16	13%	
人口10万対	116.6	122.6	155.4	38.8	33%	6.0	5%	32.8	27%	
女性医師数	10	14	11	1	10%	4	40%	-3	-21%	
人口10万対	9.0	13.5	12.0	3.0	33%	4.5	51%	-1.6	-12%	
病院勤務医師数	81	81	93	12	15%	0	0%	12	15%	
人口10万対	72.7	78.2	101.1	28.4	39%	5.6	8%	22.9	29%	
診療所勤務医師数	59	60	61	2	3%	1	2%	1	2%	
人口10万対	52.9	57.9	66.3	13.4	25%	5.0	9%	8.4	14%	
医療施設勤務医 平均年齢	51.9	54.2	57.7	5.8	11%	2.3	4%	3.5	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	16	13	5	-11	-69%	-3	-19%	-8	-62%
	35-49歳	60	42	39	-21	-35%	-18	-30%	-3	-7%
	50-64歳	28	57	68	40	143%	29	104%	11	19%
	65歳以上	36	29	42	6	17%	-7	-19%	13	45%
	75歳以上(再掲)	15	16	13	-2	-13%	1	7%	-3	-19%
男性	24-34歳	14	9	4	-10	-71%	-5	-36%	-5	-56%
	35-49歳	54	34	36	-18	-33%	-20	-37%	2	6%
	50-64歳	28	55	62	34	121%	27	96%	7	13%
	65歳以上	34	29	41	7	21%	-5	-15%	12	41%
	75歳以上(再掲)	13	16	13	0	0%	3	23%	-3	-19%
女性	24-34歳	2	4	1	-1	-50%	2	100%	-3	-75%
	35-49歳	6	8	3	-3	-50%	2	33%	-5	-63%
	50-64歳	0	2	6	6		2		4	200%
	65歳以上	2	0	1	-1	-50%	-2	-100%	1	
	75歳以上(再掲)	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
病院	24-34歳	15	13	5	-10	-67%	-2	-13%	-8	-62%
	35-49歳	45	30	31	-14	-31%	-15	-33%	1	3%
	50-64歳	9	27	39	30	333%	18	200%	12	44%
	65歳以上	12	11	18	6	50%	-1	-8%	7	64%
	75歳以上(再掲)	3	8	4	1	33%	5	167%	-4	-50%
診療所	24-34歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	35-49歳	15	12	8	-7	-47%	-3	-20%	-4	-33%
	50-64歳	19	30	29	10	53%	11	58%	-1	-3%
	65歳以上	24	18	24	0	0%	-6	-25%	6	33%
	75歳以上(再掲)	12	8	9	-3	-25%	-4	-33%	1	13%
	85歳以上(再掲)	2	2	1	-1	-50%	0	0%	-1	-50%

西部医療圏

＜医師数の推移＞

西部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、小児外科、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、心臓血管外科、整形外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、脳神経外科、泌尿器科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	140	125.6	43	141	136.2	41	154	167.4	42	14	10%	41.8	33%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	60	53.8	44	60	57.9	43	59	64.1	42	-1	-2%	10.3	19%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	7	6.3	40	5	4.8	35	4	4.3	33	-3	-43%	-1.9	-31%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	11	9.9	55	12	11.6	54	13	14.1	53	2	18%	4.3	43%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	15	13.5	42	22	21.2	54	22	23.9	57	7	47%	10.5	78%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	1	0.9	45	0	0.0	38	0	0.0	36	-1	-100%	-0.9	-100%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	2	1.8	39	4	3.9	46	5	5.4	49	3	150%	3.6	203%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	14	12.6	49	10	9.7	39	13	14.1	45	-1	-7%	1.6	13%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	1	1.1	44	1	1	1.1	1.1
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	3	2.7	42	4	3.9	43	2	2.2	36	-1	-33%	-0.5	-19%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	5	4.5	41	4	3.9	36	6	6.5	41	1	20%	2.0	45%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	5	4.5	43	4	3.9	40	4	4.3	41	-1	-20%	-0.1	-3%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	2	1.8	40	4	3.9	46	3	3.3	41	1	50%	1.5	82%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	7	6.3	42	7	6.8	44	7	7.6	44	0	0%	1.3	21%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.9	52	0	0.0	38	0	0.0	37	-1	-100%	-0.9	-100%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	4	3.6	51	2	1.9	44	4	4.3	48	0	0%	0.8	21%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	3	2.7	46	2	1.9	41	4	4.3	44	1	33%	1.7	62%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0	0.0	0.0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	1	1.1	37	1	1	1.1	1.1
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	0	0.0	40	1	1.0	42	6	6.5	49	6	6	6.5	6.5

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

西部医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は20,476人(-22%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は増減なしと推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は215人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は29%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

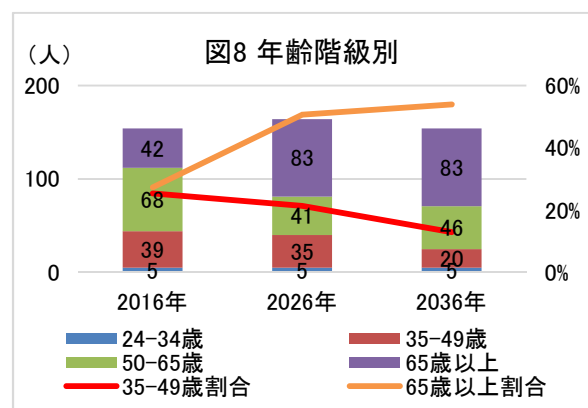
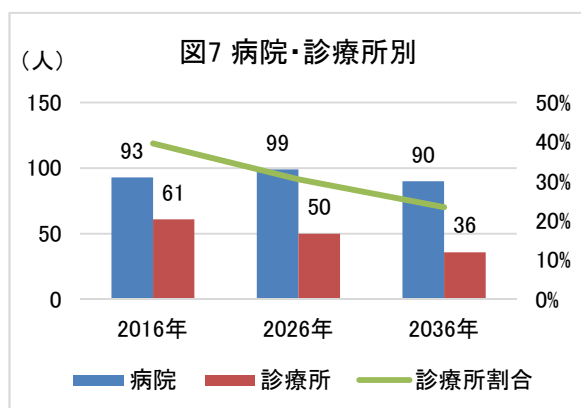
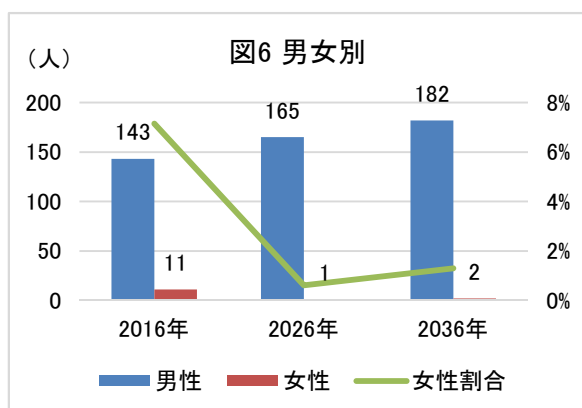
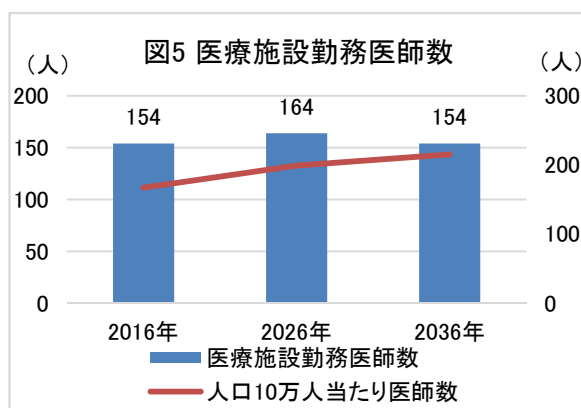
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて39人(27%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に9人(-82%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は1%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて3人(-3%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に25人(-41%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は23%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は19人(-49%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて41人(98%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年27%、2036年54%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



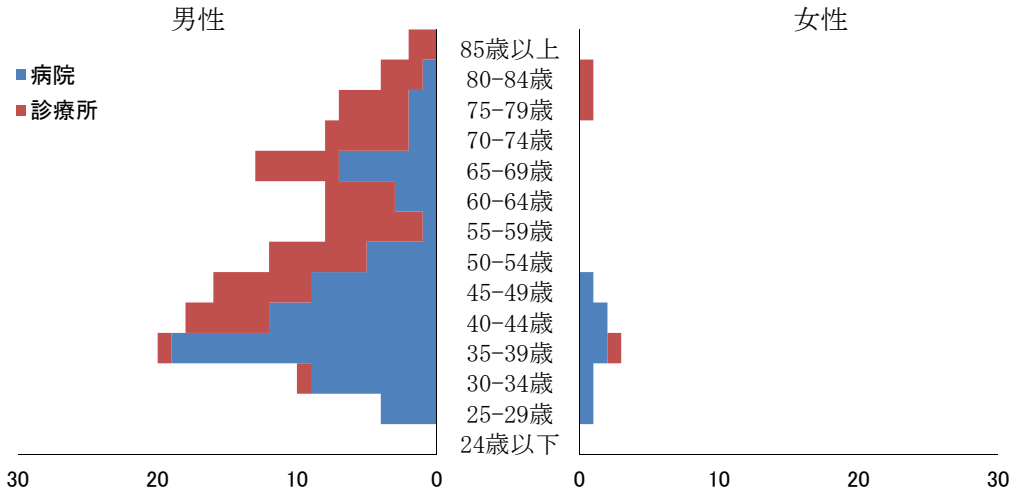
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

西部医療圏

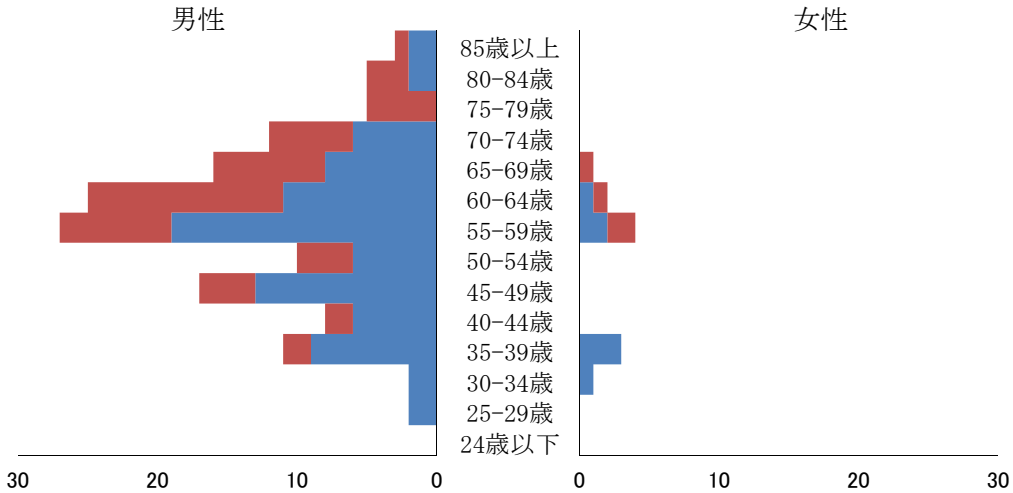
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

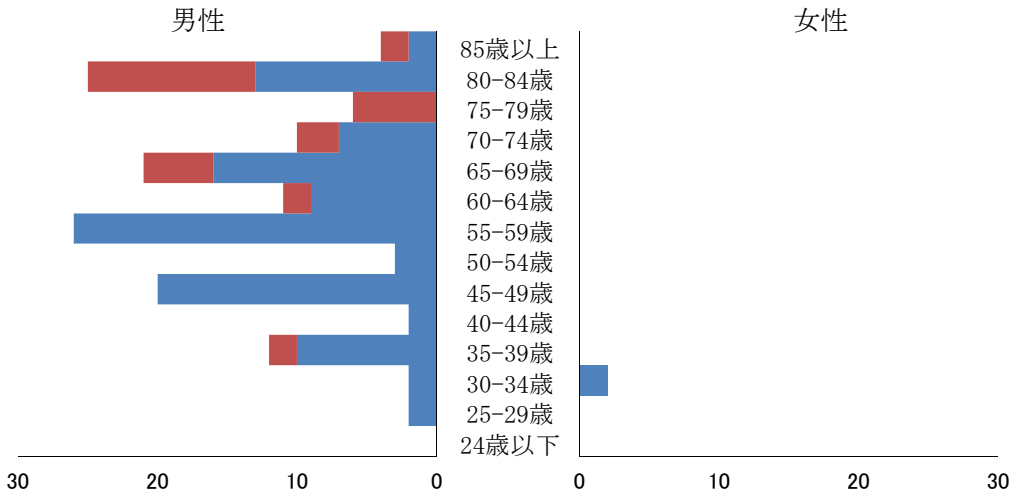
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

西部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	91,991	82,278	71,515	-20,476	-22%	-9,713	-11%	-10,763	-13%	
医療施設勤務医師数	154	164	154	0	0%	10	6%	-10	-6%	
人口10万対	167.4	199.3	215.3	47.9	29%	31.9	19%	16.0	8%	
男性医師数	143	165	182	39	27%	22	15%	17	10%	
人口10万対	155.4	200.5	254.5	99.0	64%	45.1	29%	54.0	27%	
女性医師数	11	1	2	-9	-82%	-10	-91%	1	100%	
人口10万対	12.0	1.2	2.8	-9.2	-77%	-10.7	-90%	1.6	130%	
病院勤務医師数	93	99	90	-3	-3%	6	6%	-9	-9%	
人口10万対	101.1	120.3	125.8	24.8	24%	19.2	19%	5.5	5%	
診療所勤務医師数	61	50	36	-25	-41%	-11	-18%	-14	-28%	
人口10万対	66.3	60.8	50.3	-16.0	-24%	-5.5	-8%	-10.4	-17%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	5	5	0	0%	0	0%	0	0%	
	35-49歳	39	35	20	-19	-49%	-4	-10%	-15	-43%
	50-64歳	68	41	46	-22	-32%	-27	-40%	5	12%
	65歳以上	42	83	83	41	98%	41	98%	0	0%
	75歳以上(再掲)	13	25	51	38	292%	12	92%	26	104%
男性	24-34歳	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	36	44	45	9	25%	8	22%	1	2%
	50-64歳	62	43	55	-7	-11%	-19	-31%	12	28%
	65歳以上	41	74	78	37	90%	33	80%	4	5%
	75歳以上(再掲)	13	24	46	33	254%	11	85%	22	92%
女性	24-34歳	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%
	35-49歳	3	0	0	-3	-100%	-3	-100%	0	
	50-64歳	6	0	0	-6	-100%	-6	-100%	0	
	65歳以上	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	31	24	14	-17	-55%	-7	-23%	-10	-42%
	50-64歳	39	30	33	-6	-15%	-9	-23%	3	10%
	65歳以上	18	40	38	20	111%	22	122%	-2	-5%
	75歳以上(再掲)	4	7	16	12	300%	3	75%	9	129%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	8	2	2	-6	-75%	-6	-75%	0	0%
	50-64歳	29	11	2	-27	-93%	-18	-62%	-9	-82%
	65歳以上	24	37	32	8	33%	13	54%	-5	-14%
	75歳以上(再掲)	9	13	23	14	156%	4	44%	10	77%
	85歳以上(再掲)	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

北部医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は14,759人(-8%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は17人(6%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は194人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は15%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

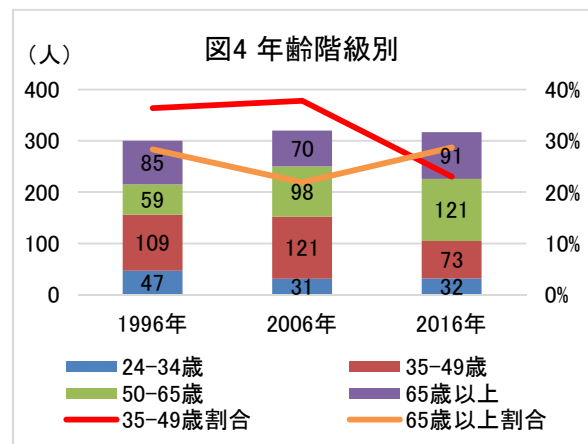
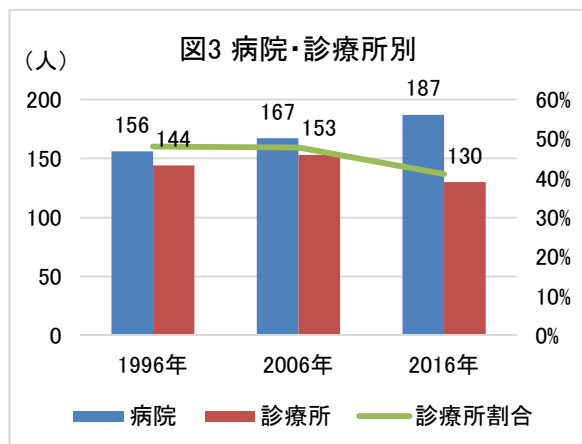
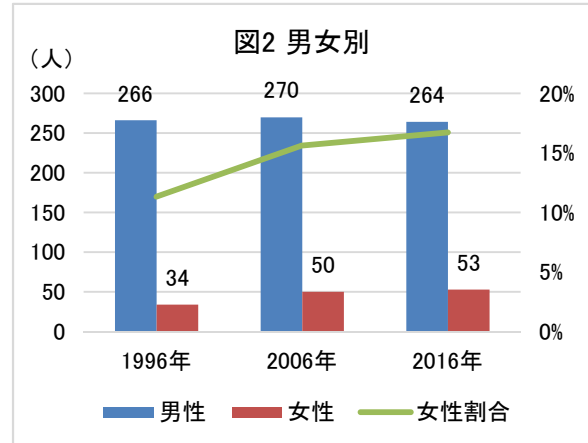
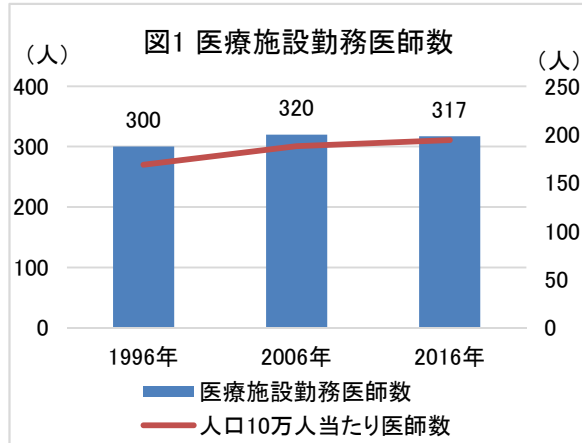
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて2人(-1%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に19人(56%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は17%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて31人(20%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に14人(-10%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は41%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は36人(-33%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて6人(7%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年28%、2016年29%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

北部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	177,835	170,291	163,076	-14,759	-8%	-7,544	-4%	-7,215	-4%	
総医師数	309	330	327	18	6%	21	7%	-3	-1%	
人口10万対	173.8	193.8	200.5	26.8	15%	20.0	12%	6.7	3%	
医療施設勤務医師数	300	320	317	17	6%	20	7%	-3	-1%	
人口10万対	168.7	187.9	194.4	25.7	15%	19.2	11%	6.5	3%	
男性医師数	266	270	264	-2	-1%	4	2%	-6	-2%	
人口10万対	149.6	158.6	161.9	12.3	8%	9.0	6%	3.3	2%	
女性医師数	34	50	53	19	56%	16	47%	3	6%	
人口10万対	19.1	29.4	32.5	13.4	70%	10.2	54%	3.1	11%	
病院勤務医師数	156	167	187	31	20%	11	7%	20	12%	
人口10万対	87.7	98.1	114.7	26.9	31%	10.3	12%	16.6	17%	
診療所勤務医師数	144	153	130	-14	-10%	9	6%	-23	-15%	
人口10万対	81.0	89.8	79.7	-1.3	-2%	8.9	11%	-10.1	-11%	
医療施設勤務医 平均年齢	52.6	53.4	56.1	3.5	7%	0.8	2%	2.7	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	47	31	32	-15	-32%	-16	-34%	1	3%
	35-49歳	109	121	73	-36	-33%	12	11%	-48	-40%
	50-64歳	59	98	121	62	105%	39	66%	23	23%
	65歳以上	85	70	91	6	7%	-15	-18%	21	30%
	75歳以上(再掲)	29	38	35	6	21%	9	31%	-3	-8%
男性	24-34歳	41	22	23	-18	-44%	-19	-46%	1	5%
	35-49歳	94	99	61	-33	-35%	5	5%	-38	-38%
	50-64歳	53	85	103	50	94%	32	60%	18	21%
	65歳以上	78	64	77	-1	-1%	-14	-18%	13	20%
	75歳以上(再掲)	28	36	30	2	7%	8	29%	-6	-17%
女性	24-34歳	6	9	9	3	50%	3	50%	0	0%
	35-49歳	15	22	12	-3	-20%	7	47%	-10	-45%
	50-64歳	6	13	18	12	200%	7	117%	5	38%
	65歳以上	7	6	14	7	100%	-1	-14%	8	133%
	75歳以上(再掲)	1	2	5	4	400%	1	100%	3	150%
病院	24-34歳	43	29	31	-12	-28%	-14	-33%	2	7%
	35-49歳	68	72	60	-8	-12%	4	6%	-12	-17%
	50-64歳	21	41	64	43	205%	20	95%	23	56%
	65歳以上	24	25	32	8	33%	1	4%	7	28%
	75歳以上(再掲)	6	12	12	6	100%	6	100%	0	0%
診療所	24-34歳	4	2	1	-3	-75%	-2	-50%	-1	-50%
	35-49歳	41	49	13	-28	-68%	8	20%	-36	-73%
	50-64歳	38	57	57	19	50%	19	50%	0	0%
	65歳以上	61	45	59	-2	-3%	-16	-26%	14	31%
	75歳以上(再掲)	23	26	23	0	0%	3	13%	-3	-12%
	85歳以上(再掲)	4	2	7	3	75%	-2	-50%	5	250%

北部医療圏

＜医師数の推移＞

北部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、脳神経外科であり、少ない診療科は、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、放射線科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	300	168.7	48	320	187.9	48	317	194.4	45	17	6%	25.7	15%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	148	83.2	52	152	89.3	54	134	82.2	48	-14	-9%	-1.1	-1%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	13	7.3	42	17	10.0	47	18	11.0	46	5	38%	3.7	51%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	16	9.0	52	15	8.8	48	16	9.8	45	0	0%	0.8	9%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	27	15.2	44	30	17.6	49	33	20.2	52	6	22%	5.1	33%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	2	1.2	61	1	0.6	50	1		0.6	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	2	1.2	43	2		1.2	
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	10	5.6	54	9	5.3	52	12	7.4	56	2	20%	1.7	31%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	21	11.8	47	28	16.4	53	27	16.6	50	6	29%	4.7	40%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0		0.0	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	8	4.5	47	7	4.1	44	8	4.9	44	0	0%	0.4	9%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	12	6.7	46	12	7.0	44	10	6.1	40	-2	-17%	-0.6	-9%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	10	5.6	46	11	6.5	48	7	4.3	40	-3	-30%	-1.3	-24%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	7	3.9	49	8	4.7	50	8	4.9	47	1	14%	1.0	25%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	13	7.3	44	12	7.0	44	9	5.5	40	-4	-31%	-1.8	-25%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.6	48	0	0.0	38	0	0.0	37	-1	-100%	-0.6	-100%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	2	1.1	43	4	2.3	45	7	4.3	48	5	250%	3.2	282%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	5	2.8	46	4	2.3	43	5	3.1	41	0	0%	0.3	9%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0		0.0	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				6	3.5	41	7	4.3	40	7	17%	0.8	22%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	7	3.9	49	3	1.8	43	13	8.0	51	6	86%	4.0	103%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

北部医療圏

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は26,894人(-16%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は7人(2%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は238人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は22%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

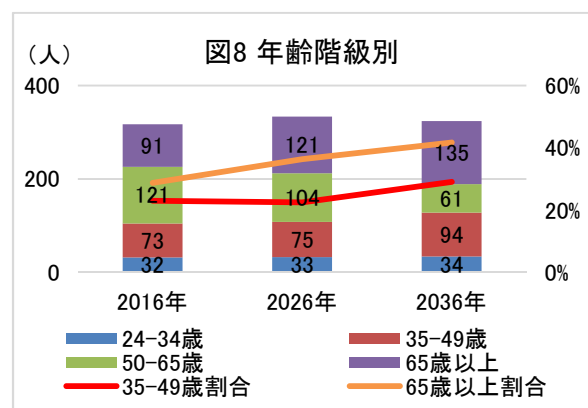
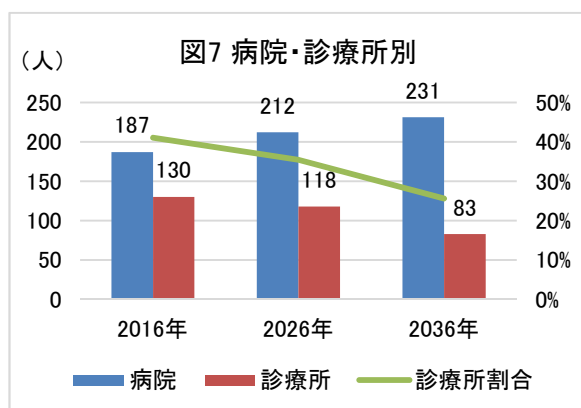
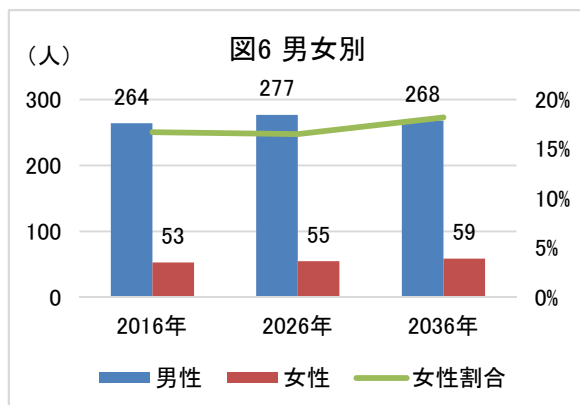
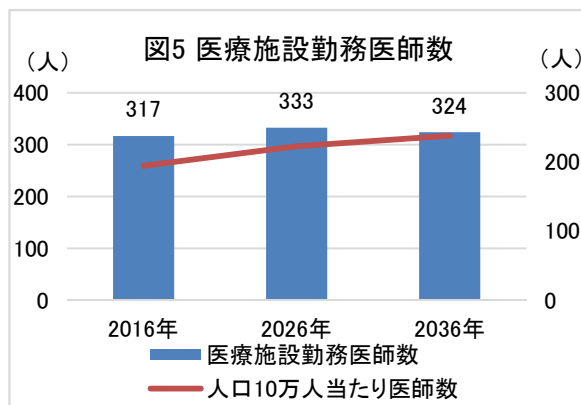
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて4人(2%)増え、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に6人(11%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は18%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて44人(24%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に47人(-36%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は26%と、全国平均(26%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は21人(29%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて44人(48%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年29%、2036年42%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



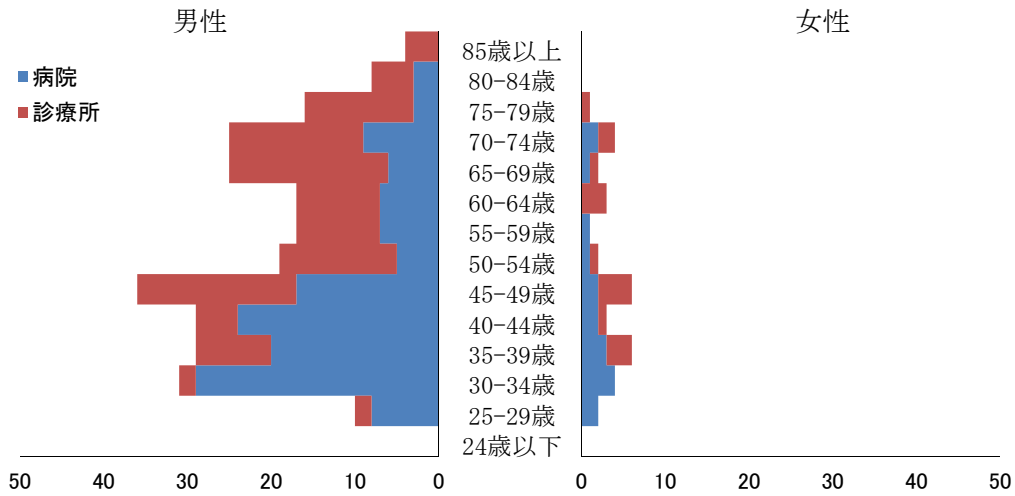
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

北部医療圏

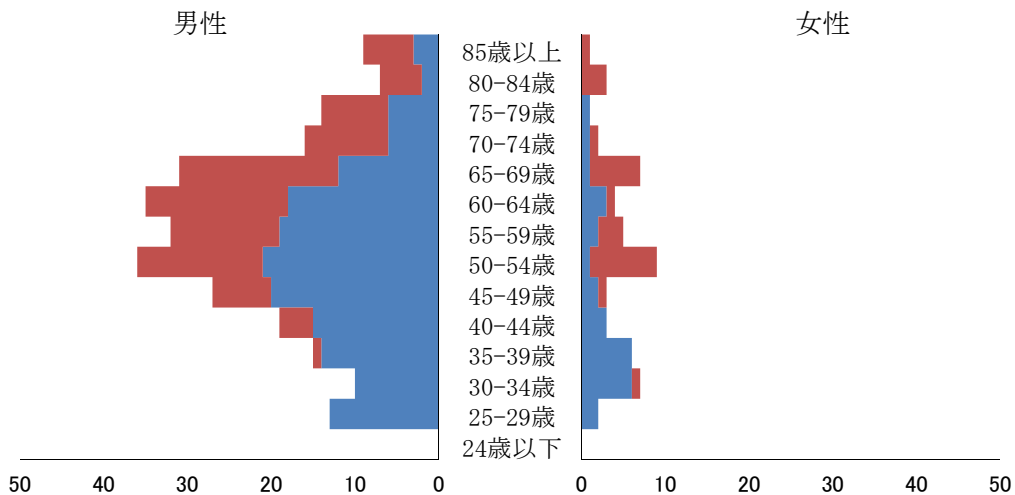
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

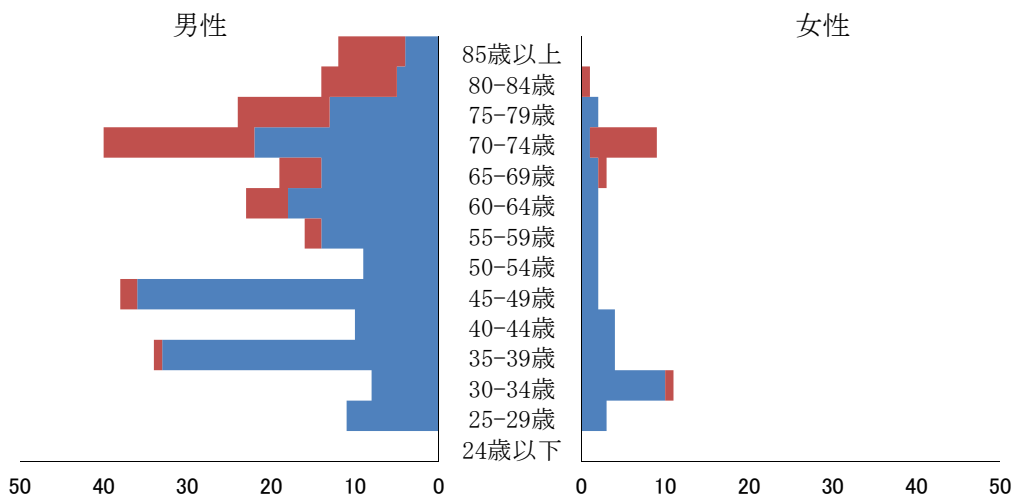
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

北部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	163,076	149,523	136,182	-26,894	-16%	-13,553	-8%	-13,341	-9%	
医療施設勤務医師数	317	333	324	7	2%	16	5%	-9	-3%	
人口10万対	194.4	222.7	237.9	43.5	22%	28.3	15%	15.2	7%	
男性医師数	264	277	268	4	2%	13	5%	-9	-3%	
人口10万対	161.9	185.3	196.8	34.9	22%	23.4	14%	11.5	6%	
女性医師数	53	55	59	6	11%	2	4%	4	7%	
人口10万対	32.5	36.8	43.3	10.8	33%	4.3	13%	6.5	18%	
病院勤務医師数	187	212	231	44	24%	25	13%	19	9%	
人口10万対	114.7	141.8	169.6	55.0	48%	27.1	24%	27.8	20%	
診療所勤務医師数	130	118	83	-47	-36%	-12	-9%	-35	-30%	
人口10万対	79.7	78.9	60.9	-18.8	-24%	-0.8	-1%	-18.0	-23%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	32	33	34	2	6%	1	3%	1	3%
	35-49歳	73	75	94	21	29%	2	3%	19	25%
	50-64歳	121	104	61	-60	-50%	-17	-14%	-43	-41%
	65歳以上	91	121	135	44	48%	30	33%	14	12%
	75歳以上(再掲)	35	58	65	30	86%	23	66%	7	12%
男性	24-34歳	23	24	19	-4	-17%	1	4%	-5	-21%
	35-49歳	61	64	89	28	46%	3	5%	25	39%
	50-64歳	103	88	49	-54	-52%	-15	-15%	-39	-44%
	65歳以上	77	101	111	34	44%	24	31%	10	10%
	75歳以上(再掲)	30	47	52	22	73%	17	57%	5	11%
女性	24-34歳	9	9	14	5	56%	0	0%	5	56%
	35-49歳	12	11	10	-2	-17%	-1	-8%	-1	-9%
	50-64歳	18	14	9	-9	-50%	-4	-22%	-5	-36%
	65歳以上	14	21	26	12	86%	7	50%	5	24%
	75歳以上(再掲)	5	12	15	10	200%	7	140%	3	25%
病院	24-34歳	31	32	33	2	6%	1	3%	1	3%
	35-49歳	60	67	84	24	40%	7	12%	17	25%
	50-64歳	64	63	50	-14	-22%	-1	-2%	-13	-21%
	65歳以上	32	50	64	32	100%	18	56%	14	28%
	75歳以上(再掲)	12	17	26	14	117%	5	42%	9	53%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	13	5	5	-8	-62%	-8	-62%	0	0%
	50-64歳	57	40	8	-49	-86%	-17	-30%	-32	-80%
	65歳以上	59	72	69	10	17%	13	22%	-3	-4%
	75歳以上(再掲)	23	42	37	14	61%	19	83%	-5	-12%
	85歳以上(再掲)	7	6	11	4	57%	-1	-14%	5	83%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)